

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590041001	科目番号 / Course code	05900410
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11119_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (L(中3)_P1・P2) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高 芳 / Kou Hou		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	高 芳 / Kou Hou		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	高 芳 / Kou Hou		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	L(中3)_P1・P2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	gaofang▲sun.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	当日授業の教室で、授業のすぐあと		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1時間/回) 復習: 教科書・プリントの該当箇所を復習すること(1時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト: 楊曉安・高芳『ポイントチェック・初級中国語』(同学社) 辞書: 日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	授業は全回出席することが原則であり、授業への出席が授業回数の3分の2に達していない場合は、期末テストを受けることはできません。遅刻3回は欠席1回の扱いとします。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2974 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 発音(1) (対面) 母音(1) a/o/e/i/u/ai/ei/ao/ou / 子音(1) 唇音b/p/m/f 舌尖音d/t/n/l / 声調(1) 四声/子声調記号のつけ方/有気音と無気音
第2回	第2課 発音(2) (対面) 母音(2) an/en/ang/eng/ong/ua/uo/uai/uei(ui)/uan/uen(un)/uang/ueng / 子音(2) 舌根音 g/k/h / 声調(2) 軽声/鼻音nとngを伴う母音
第3回	第3課 発音(3) (対面) 母音(3) ia/ie/iao/iou(iu) /ian/in/iang/ing/iong/üe/üan/ün ・子音(3) 舌面音j/q/x ・声調(3) “不” bùの変調 ・ウムラウト(¨)の省略
第4回	第4課 発音(4) (対面) 母音(4) 3種のi ・子音(4) そり舌音zh/ch/sh/r 舌歯音 z/c/s ・声調(4) 第3声の連続変調・“儿化”r (アル)化の音・隔音符号
第5回	発音の復習 (対面) 子音一覧表・母音一覧表・音節の基本構造・母音が単独で音節をなす時の表記法・声調の組み合わせ
第6回	第5課 『你叫什麼名字?』 (対面) 学習ポイント: 名前の言い方・尋ね方・人称代名詞・判断文(動詞“是”)・“吗”疑問文・コラム: 中国の人口
第7回	第5課 『你叫什麼名字?』 (対面) 学習ポイント: 名前の言い方・尋ね方・人称代名詞・判断文(動詞“是”)・“吗”疑問文・コラム: 中国の人口
第8回	第6課 『你家有幾口人?』 (対面) 学習ポイント: 家族の呼称・所有の“有”・数詞(中国語の数え方)・常用量詞・コラム: 中国の民族構成
第9回	第6課 『你家有幾口人?』 (対面) 学習ポイント: 家族の呼称・所有の“有”・数詞(中国語の数え方)・常用量詞・コラム: 中国の民族構成
第10回	第7課 『這是什麼?』 (対面) 学習ポイント: 指示代名詞・副詞「也」・「都」・構造助詞「的 de」・疑問詞「什么」・コラム: 中国地形の三大特徴
第11回	第7課 『這是什麼?』 (対面) 学習ポイント: 指示代名詞・副詞「也」・「都」・構造助詞「的 de」・疑問詞「什么」・コラム: 中国地形の三大特徴
第12回	第8課 『今年二〇二幾年?』 (対面) 学習ポイント: 年/月/日/曜日/一日・名詞述語文・時間と時刻の言い方・コラム: 中国の七大方言
第13回	第8課 『今年二〇二幾年?』 (対面) 学習ポイント: 年/月/日/曜日/一日・名詞述語文・時間と時刻の言い方・コラム: 中国の七大方言
第14回	復習 発音の復習 (対面)
第15回	復習 第5課から第8課までの復習 (対面)
第16回	期末試験 (対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590041002	科目番号 / Course code	05900410
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11119_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (E(中4)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高 芳 / Kou Hou		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	高 芳 / Kou Hou		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	高 芳 / Kou Hou		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	E(中4)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	gaofang▲sun.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	当日授業の教室で、授業のすぐあと		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1時間/回) 復習：教科書・プリントの該当箇所を復習すること(1時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト：楊曉安・高芳『ポイントチェック・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	授業は全回出席することが原則であり、授業への出席が授業回数の3分の2に達していない場合は、期末テストを受けることはできません。遅刻3回は欠席1回の扱いとします。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (Tel) 095-819-2006 (Fax) 095-819-2974 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 発音(1) (対面) 母音(1) a/o/e/i/u/ai/ei/ao/ou / 子音(1) 唇音b/p/m/f 舌尖音d/t/n/l / 声調(1) 四声/子声調記号のつけ方/有気音と無気音
第2回	第2課 発音(2) (対面) 母音(2) an/en/ang/eng/ong/ua/uo/uai/uei(ui)/uan/uen(un)/uang/ueng / 子音(2) 舌根音 g/k/h / 声調(2) 軽声/鼻音nとngを伴う母音
第3回	第3課 発音(3) (対面) 母音(3) ia/ie/iao/iou(iu) /ian/in/iang/ing/iong/üe/üan/ün ・子音(3) 舌面音j/q/x ・声調(3) “不” bùの変調 ・ウムラウト(¨)の省略
第4回	第4課 発音(4) (対面) 母音(4) 3種のi ・子音(4) そり舌音zh/ch/sh/r 舌歯音 z/c/s ・声調(4) 第3声の連続変調・“儿化”r (アル)化の音・隔音符号
第5回	発音の復習 (対面) 子音一覧表・母音一覧表・音節の基本構造・母音が単独で音節をなす時の表記法・声調の組み合わせ
第6回	第5課 『你叫什麼名字?』 (対面) 学習ポイント: 名前の言い方・尋ね方・人称代名詞・判断文(動詞“是”)・“吗”疑問文・コラム: 中国の人口
第7回	第5課 『你叫什麼名字?』 (対面) 学習ポイント: 名前の言い方・尋ね方・人称代名詞・判断文(動詞“是”)・“吗”疑問文・コラム: 中国の人口
第8回	第6課 『你家有幾口人?』 (対面) 学習ポイント: 家族の呼称・所有の“有”・数詞(中国語の数え方)・常用量詞・コラム: 中国の民族構成
第9回	第6課 『你家有幾口人?』 (対面) 学習ポイント: 家族の呼称・所有の“有”・数詞(中国語の数え方)・常用量詞・コラム: 中国の民族構成
第10回	第7課 『這是什麼?』 (対面) 学習ポイント: 指示代名詞・副詞「也」・「都」・構造助詞「的 de」・疑問詞「什么」・コラム: 中国地形の三大特徴
第11回	第7課 『這是什麼?』 (対面) 学習ポイント: 指示代名詞・副詞「也」・「都」・構造助詞「的 de」・疑問詞「什么」・コラム: 中国地形の三大特徴
第12回	第8課 『今年二〇二幾年?』 (対面) 学習ポイント: 年/月/日/曜日/一日・名詞述語文・時間と時刻の言い方・コラム: 中国の七大方言
第13回	第8課 『今年二〇二幾年?』 (対面) 学習ポイント: 年/月/日/曜日/一日・名詞述語文・時間と時刻の言い方・コラム: 中国の七大方言
第14回	復習 発音の復習 (対面)
第15回	復習 第5課から第8課までの復習 (対面)
第16回	期末試験 (対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590041003	科目番号 / Course code	05900410
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11119_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (L(中2)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	王 迪 / Di Wang		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	王 迪 / Di Wang		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	王 迪 / Di Wang		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	L(中2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	wd2000jp▲yahoo.co.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業がある日の6時まで		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1時間/回) 復習: 教科書・プリントの該当箇所を復習すること(1時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト: 楊曉安・高芳『ポイントチェック・初級中国語』(同学社) 辞書: 日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	授業は全回出席することが原則であり、授業への出席が授業回数の3分の2に達していない場合は、期末テストを受けることはできません。遅刻3回は欠席1回の扱いとします。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (Tel) 095-819-2006 (Fax) 095-819-2974 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 発音(1) (対面) 母音(1) a/o/e/i/u/ai/ei/ao/ou / 子音(1) 唇音b/p/m/f 舌尖音d/t/n/l / 声調(1) 四声/子声調記号のつけ方/有気音と無気音
第2回	第2課 発音(2) (対面) 母音(2) an/en/ang/eng/ong/ua/uo/uai/uei(ui)/uan/uen(un)/uang/ueng / 子音(2) 舌根音 g/k/h / 声調(2) 軽声/鼻音nとngを伴う母音
第3回	第3課 発音(3) (対面) 母音(3) ia/ie/iao/iou(iu) /ian/in/iang/ing/iong/üe/üan/ün ・子音(3) 舌面音j/q/x ・声調(3) “不” bùの変調 ・ウムラウト(¨)の省略
第4回	第4課 発音(4) (対面) 母音(4) 3種のi ・子音(4) そり舌音zh/ch/sh/r 舌歯音 z/c/s ・声調(4) 第3声の連続変調・“儿化”r (アル)化の音・隔音符号
第5回	発音の復習 (対面) 子音一覧表・母音一覧表・音節の基本構造・母音が単独で音節をなす時の表記法・声調の組み合わせ
第6回	第5課 『你叫什麼名字?』 (対面) 学習ポイント: 名前の言い方・尋ね方・人称代名詞・判断文(動詞“是”)・“吗”疑問文・コラム: 中国の人口
第7回	第5課 『你叫什麼名字?』 (対面) 学習ポイント: 名前の言い方・尋ね方・人称代名詞・判断文(動詞“是”)・“吗”疑問文・コラム: 中国の人口
第8回	第6課 『你家有幾口人?』 (対面) 学習ポイント: 家族の呼称・所有の“有”・数詞(中国語の数え方)・常用量詞・コラム: 中国の民族構成
第9回	第6課 『你家有幾口人?』 (対面) 学習ポイント: 家族の呼称・所有の“有”・数詞(中国語の数え方)・常用量詞・コラム: 中国の民族構成
第10回	第7課 『這是什麼?』 (対面) 学習ポイント: 指示代名詞・副詞「也」・「都」・構造助詞「的 de」・疑問詞「什么」・コラム: 中国地形の三大特徴
第11回	第7課 『這是什麼?』 (対面) 学習ポイント: 指示代名詞・副詞「也」・「都」・構造助詞「的 de」・疑問詞「什么」・コラム: 中国地形の三大特徴
第12回	第8課 『今年二〇二幾年?』 (対面) 学習ポイント: 年/月/日/曜日/一日・名詞述語文・時間と時刻の言い方・コラム: 中国の七大方言
第13回	第8課 『今年二〇二幾年?』 (対面) 学習ポイント: 年/月/日/曜日/一日・名詞述語文・時間と時刻の言い方・コラム: 中国の七大方言
第14回	復習 発音の復習 (対面)
第15回	復習 第5課から第8課までの復習 (対面)
第16回	期末試験 (対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590041004	科目番号 / Course code	05900410
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11119_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (F(中1)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	王 迪 / Di Wang		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	王 迪 / Di Wang		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	王 迪 / Di Wang		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	F(中1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	wd2000jp▲yahoo.co.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業がある日の6時まで		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1時間/回) 復習：教科書・プリントの該当箇所を復習すること(1時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト：楊曉安・高芳『ポイントチェック・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	授業は全回出席することが原則であり、授業への出席が授業回数の3分の2に達していない場合は、期末テストを受けることはできません。遅刻3回は欠席1回の扱いとします。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (Tel) 095-819-2006 (Fax) 095-819-2974 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 発音(1) (対面) 母音(1) a/o/e/i/u/ai/ei/ao/ou / 子音(1) 唇音b/p/m/f 舌尖音d/t/n/l / 声調(1) 四声/子声調記号のつけ方/有気音と無気音
第2回	第2課 発音(2) (対面) 母音(2) an/en/ang/eng/ong/ua/uo/uai/uei(ui)/uan/uen(un)/uang/ueng / 子音(2) 舌根音 g/k/h / 声調(2) 軽声/鼻音nとngを伴う母音
第3回	第3課 発音(3) (対面) 母音(3) ia/ie/iao/iou(iu) /ian/in/iang/ing/iong/üe/üan/ün ・子音(3) 舌面音j/q/x ・声調(3) “不” bùの変調 ・ウムラウト(¨)の省略
第4回	第4課 発音(4) (対面) 母音(4) 3種のi ・子音(4) そり舌音zh/ch/sh/r 舌歯音 z/c/s ・声調(4) 第3声の連続変調・“儿化” r (アル) 化の音・隔音符号
第5回	発音の復習 (対面) 子音一覧表・母音一覧表・音節の基本構造・母音が単独で音節をなす時の表記法・声調の組み合わせ
第6回	第5課 『你叫什麼名字?』 (対面) 学習ポイント: 名前の言い方・尋ね方・人称代名詞・判断文(動詞“是”)・“吗”疑問文・コラム: 中国の人口
第7回	第5課 『你叫什麼名字?』 (対面) 学習ポイント: 名前の言い方・尋ね方・人称代名詞・判断文(動詞“是”)・“吗”疑問文・コラム: 中国の人口
第8回	第6課 『你家有幾口人?』 (対面) 学習ポイント: 家族の呼称・所有の“有”・数詞(中国語の数え方)・常用量詞・コラム: 中国の民族構成
第9回	第6課 『你家有幾口人?』 (対面) 学習ポイント: 家族の呼称・所有の“有”・数詞(中国語の数え方)・常用量詞・コラム: 中国の民族構成
第10回	第7課 『這是什麼?』 (対面) 学習ポイント: 指示代名詞・副詞「也」・「都」・構造助詞「的 de」・疑問詞「什么」・コラム: 中国地形の三大特徴
第11回	第7課 『這是什麼?』 (対面) 学習ポイント: 指示代名詞・副詞「也」・「都」・構造助詞「的 de」・疑問詞「什么」・コラム: 中国地形の三大特徴
第12回	第8課 『今年二〇二幾年?』 (対面) 学習ポイント: 年/月/日/曜日/一日・名詞述語文・時間と時刻の言い方・コラム: 中国の七大方言
第13回	第8課 『今年二〇二幾年?』 (対面) 学習ポイント: 年/月/日/曜日/一日・名詞述語文・時間と時刻の言い方・コラム: 中国の七大方言
第14回	復習 発音の復習 (対面)
第15回	復習 第5課から第8課までの復習 (対面)
第16回	期末試験 (対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590041005	科目番号 / Course code	05900410
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11119_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (E(中1)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	王 迪 / Di Wang		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	王 迪 / Di Wang		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	王 迪 / Di Wang		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	E(中1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	wd2000jp▲yahoo.co.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業がある日の6時まで		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1時間/回) 復習: 教科書・プリントの該当箇所を復習すること(1時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト: 楊曉安・高芳『ポイントチェック・初級中国語』(同学社) 辞書: 日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	授業は全回出席することが原則であり、授業への出席が授業回数の3分の2に達していない場合は、期末テストを受けることはできません。遅刻3回は欠席1回の扱いとします。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (Tel) 095-819-2006 (Fax) 095-819-2974 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 発音(1) (対面) 母音(1) a/o/e/i/u/ai/ei/ao/ou / 子音(1) 唇音b/p/m/f 舌尖音d/t/n/l / 声調(1) 四声/子声調記号のつけ方/有気音と無気音
第2回	第2課 発音(2) (対面) 母音(2) an/en/ang/eng/ong/ua/uo/uai/uei(ui)/uan/uen(un)/uang/ueng / 子音(2) 舌根音 g/k/h / 声調(2) 軽声/鼻音nとngを伴う母音
第3回	第3課 発音(3) (対面) 母音(3) ia/ie/iao/iou(iu) /ian/in/iang/ing/iong/üe/üan/ün ・子音(3) 舌面音j/q/x ・声調(3) “不” bùの変調 ・ウムラウト(¨)の省略
第4回	第4課 発音(4) (対面) 母音(4) 3種のi ・子音(4) そり舌音zh/ch/sh/r 舌歯音 z/c/s ・声調(4) 第3声の連続変調・“儿化” r (アル) 化の音・隔音符号
第5回	発音の復習 (対面) 子音一覧表・母音一覧表・音節の基本構造・母音が単独で音節をなす時の表記法・声調の組み合わせ
第6回	第5課 『你叫什麼名字?』 (対面) 学習ポイント: 名前の言い方・尋ね方・人称代名詞・判断文(動詞“是”)・“吗”疑問文・コラム: 中国の人口
第7回	第5課 『你叫什麼名字?』 (対面) 学習ポイント: 名前の言い方・尋ね方・人称代名詞・判断文(動詞“是”)・“吗”疑問文・コラム: 中国の人口
第8回	第6課 『你家有幾口人?』 (対面) 学習ポイント: 家族の呼称・所有の“有”・数詞(中国語の数え方)・常用量詞・コラム: 中国の民族構成
第9回	第6課 『你家有幾口人?』 (対面) 学習ポイント: 家族の呼称・所有の“有”・数詞(中国語の数え方)・常用量詞・コラム: 中国の民族構成
第10回	第7課 『這是什麼?』 (対面) 学習ポイント: 指示代名詞・副詞「也」・「都」・構造助詞「的 de」・疑問詞「什么」・コラム: 中国地形の三大特徴
第11回	第7課 『這是什麼?』 (対面) 学習ポイント: 指示代名詞・副詞「也」・「都」・構造助詞「的 de」・疑問詞「什么」・コラム: 中国地形の三大特徴
第12回	第8課 『今年二〇二幾年?』 (対面) 学習ポイント: 年/月/日/曜日/一日・名詞述語文・時間と時刻の言い方・コラム: 中国の七大方言
第13回	第8課 『今年二〇二幾年?』 (対面) 学習ポイント: 年/月/日/曜日/一日・名詞述語文・時間と時刻の言い方・コラム: 中国の七大方言
第14回	復習 発音の復習 (対面)
第15回	復習 第5課から第8課までの復習 (対面)
第16回	期末試験 (対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590041006	科目番号 / Course code	05900410
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11119_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (E(中3)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	王 迪 / Di Wang		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	王 迪 / Di Wang		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	王 迪 / Di Wang		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	E(中3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	wd2000jp▲yahoo.co.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業がある日の6時まで		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1時間/回) 復習: 教科書・プリントの該当箇所を復習すること(1時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト: 楊曉安・高芳『ポイントチェック・初級中国語』(同学社) 辞書: 日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	授業は全回出席することが原則であり、授業への出席が授業回数の3分の2に達していない場合は、期末テストを受けることはできません。遅刻3回は欠席1回の扱いとします。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (Tel) 095-819-2006 (Fax) 095-819-2974 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 発音(1) (対面) 母音(1) a/o/e/i/u/ai/ei/ao/ou / 子音(1) 唇音b/p/m/f 舌尖音d/t/n/l / 声調(1) 四声/子声調記号のつけ方/有気音と無気音
第2回	第2課 発音(2) (対面) 母音(2) an/en/ang/eng/ong/ua/uo/uai/uei(ui)/uan/uen(un)/uang/ueng / 子音(2) 舌根音 g/k/h / 声調(2) 軽声/鼻音nとngを伴う母音
第3回	第3課 発音(3) (対面) 母音(3) ia/ie/iao/iou(iu) /ian/in/iang/ing/iong/üe/üan/ün ・子音(3) 舌面音j/q/x ・声調(3) “不” bùの変調 ・ウムラウト(¨)の省略
第4回	第4課 発音(4) (対面) 母音(4) 3種のi ・子音(4) そり舌音zh/ch/sh/r 舌歯音 z/c/s ・声調(4) 第3声の連続変調・“儿化” r (アル) 化の音・隔音符号
第5回	発音の復習 (対面) 子音一覧表・母音一覧表・音節の基本構造・母音が単独で音節をなす時の表記法・声調の組み合わせ
第6回	第5課 『你叫什麼名字?』 (対面) 学習ポイント: 名前の言い方・尋ね方・人称代名詞・判断文(動詞“是”)・“吗”疑問文・コラム: 中国の人口
第7回	第5課 『你叫什麼名字?』 (対面) 学習ポイント: 名前の言い方・尋ね方・人称代名詞・判断文(動詞“是”)・“吗”疑問文・コラム: 中国の人口
第8回	第6課 『你家有幾口人?』 (対面) 学習ポイント: 家族の呼称・所有の“有”・数詞(中国語の数え方)・常用量詞・コラム: 中国の民族構成
第9回	第6課 『你家有幾口人?』 (対面) 学習ポイント: 家族の呼称・所有の“有”・数詞(中国語の数え方)・常用量詞・コラム: 中国の民族構成
第10回	第7課 『這是什麼?』 (対面) 学習ポイント: 指示代名詞・副詞「也」・「都」・構造助詞「的 de」・疑問詞「什么」・コラム: 中国地形の三大特徴
第11回	第7課 『這是什麼?』 (対面) 学習ポイント: 指示代名詞・副詞「也」・「都」・構造助詞「的 de」・疑問詞「什么」・コラム: 中国地形の三大特徴
第12回	第8課 『今年二〇二幾年?』 (対面) 学習ポイント: 年/月/日/曜日/一日・名詞述語文・時間と時刻の言い方・コラム: 中国の七大方言
第13回	第8課 『今年二〇二幾年?』 (対面) 学習ポイント: 年/月/日/曜日/一日・名詞述語文・時間と時刻の言い方・コラム: 中国の七大方言
第14回	復習 発音の復習 (対面)
第15回	復習 第5課から第8課までの復習 (対面)
第16回	期末試験 (対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590041007	科目番号 / Course code	05900410
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11119_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (G1 ~ G3) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	楊 曉安 / Yang Xiaolan		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	楊 曉安 / Yang Xiaolan		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	楊 曉安 / Yang Xiaolan		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	G1 ~ G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	xiaolan▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2166		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日4校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1時間/回) 復習: 教科書・プリントの該当箇所を復習すること(1時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト: 楊曉安・高芳『ポイントチェック・初級中国語』(同学社) 辞書: 日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	授業は全回出席することが原則であり、授業への出席が授業回数の3分の2に達していない場合は、期末テストを受けることはできません。遅刻3回は欠席1回の扱いとします。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (Tel) 095-819-2006 (Fax) 095-819-2974 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 発音(1) (対面) 母音(1) a/o/e/i/u/ai/ei/ao/ou / 子音(1) 唇音b/p/m/f 舌尖音d/t/n/l / 声調(1) 四声/子声調記号のつけ方/有気音と無気音
第2回	第2課 発音(2) (対面) 母音(2) an/en/ang/eng/ong/ua/uo/uai/uei(ui)/uan/uen(un)/uang/ueng / 子音(2) 舌根音 g/k/h / 声調(2) 軽声/鼻音nとngを伴う母音
第3回	第3課 発音(3) (対面) 母音(3) ia/ie/iao/iou(iu) /ian/in/iang/ing/iong/üe/üan/ün ・子音(3) 舌面音j/q/x ・声調(3) “不” bùの変調 ・ウムラウト(¨)の省略
第4回	第4課 発音(4) (対面) 母音(4) 3種のi ・子音(4) そり舌音zh/ch/sh/r 舌歯音 z/c/s ・声調(4) 第3声の連続変調・“儿化” r (アル) 化の音・隔音符号
第5回	発音の復習 (対面) 子音一覧表・母音一覧表・音節の基本構造・母音が単独で音節をなす時の表記法・声調の組み合わせ
第6回	第5課 『你叫什麼名字?』 (対面) 学習ポイント: 名前の言い方・尋ね方・人称代名詞・判断文(動詞“是”)・“吗”疑問文・コラム: 中国の人口
第7回	第5課 『你叫什麼名字?』 (対面) 学習ポイント: 名前の言い方・尋ね方・人称代名詞・判断文(動詞“是”)・“吗”疑問文・コラム: 中国の人口
第8回	第6課 『你家有幾口人?』 (対面) 学習ポイント: 家族の呼称・所有の“有”・数詞(中国語の数え方)・常用量詞・コラム: 中国の民族構成
第9回	第6課 『你家有幾口人?』 (対面) 学習ポイント: 家族の呼称・所有の“有”・数詞(中国語の数え方)・常用量詞・コラム: 中国の民族構成
第10回	第7課 『這是什麼?』 (対面) 学習ポイント: 指示代名詞・副詞「也」・「都」・構造助詞「的 de」・疑問詞「什么」・コラム: 中国地形の三大特徴
第11回	第7課 『這是什麼?』 (対面) 学習ポイント: 指示代名詞・副詞「也」・「都」・構造助詞「的 de」・疑問詞「什么」・コラム: 中国地形の三大特徴
第12回	第8課 『今年二〇二幾年?』 (対面) 学習ポイント: 年/月/日/曜日/一日・名詞述語文・時間と時刻の言い方・コラム: 中国の七大方言
第13回	第8課 『今年二〇二幾年?』 (対面) 学習ポイント: 年/月/日/曜日/一日・名詞述語文・時間と時刻の言い方・コラム: 中国の七大方言
第14回	復習 発音の復習 (対面)
第15回	復習 第5課から第8課までの復習 (対面)
第16回	期末試験 (対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590041008	科目番号 / Course code	05900410
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11119_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (E(中2)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	周 国強 / Syu Kokkyo		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	周 国強 / Syu Kokkyo		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	周 国強 / Syu Kokkyo		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	E(中2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	zgg▲sun.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 12:00 ~ 13:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1時間/回) 復習: 教科書・プリントの該当箇所を復習すること(1時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト: 楊曉安・高芳『ポイントチェック・初級中国語』(同学社) 辞書: 日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	授業は全回出席することが原則であり、授業への出席が授業回数の3分の2に達していない場合は、期末テストを受けることはできません。遅刻3回は欠席1回の扱いとします。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (Tel) 095-819-2006 (Fax) 095-819-2974 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 発音(1) (対面) 母音(1) a/o/e/i/u/ai/ei/ao/ou / 子音(1) 唇音b/p/m/f 舌尖音d/t/n/l / 声調(1) 四声/子声調記号のつけ方/有気音と無気音
第2回	第2課 発音(2) (対面) 母音(2) an/en/ang/eng/ong/ua/uo/uai/uei(ui)/uan/uen(un)/uang/ueng / 子音(2) 舌根音 g/k/h / 声調(2) 軽声/鼻音nとngを伴う母音
第3回	第3課 発音(3) (対面) 母音(3) ia/ie/iao/iou(iu) /ian/in/iang/ing/iong/üe/üan/ün ・子音(3) 舌面音j/q/x ・声調(3) “不” bùの変調 ・ウムラウト(¨)の省略
第4回	第4課 発音(4) (対面) 母音(4) 3種のi ・子音(4) そり舌音zh/ch/sh/r 舌歯音 z/c/s ・声調(4) 第3声の連続変調・“儿化”r (アル)化の音・隔音符号
第5回	発音の復習 (対面) 子音一覧表・母音一覧表・音節の基本構造・母音が単独で音節をなす時の表記法・声調の組み合わせ
第6回	第5課 『你叫什麼名字?』 (対面) 学習ポイント: 名前の言い方・尋ね方・人称代名詞・判断文(動詞“是”)・“吗”疑問文・コラム: 中国の人口
第7回	第5課 『你叫什麼名字?』 (対面) 学習ポイント: 名前の言い方・尋ね方・人称代名詞・判断文(動詞“是”)・“吗”疑問文・コラム: 中国の人口
第8回	第6課 『你家有幾口人?』 (対面) 学習ポイント: 家族の呼称・所有の“有”・数詞(中国語の数え方)・常用量詞・コラム: 中国の民族構成
第9回	第6課 『你家有幾口人?』 (対面) 学習ポイント: 家族の呼称・所有の“有”・数詞(中国語の数え方)・常用量詞・コラム: 中国の民族構成
第10回	第7課 『這是什麼?』 (対面) 学習ポイント: 指示代名詞・副詞「也」・「都」・構造助詞「的 de」・疑問詞「什么」・コラム: 中国地形の三大特徴
第11回	第7課 『這是什麼?』 (対面) 学習ポイント: 指示代名詞・副詞「也」・「都」・構造助詞「的 de」・疑問詞「什么」・コラム: 中国地形の三大特徴
第12回	第8課 『今年二〇二幾年?』 (対面) 学習ポイント: 年/月/日/曜日/一日・名詞述語文・時間と時刻の言い方・コラム: 中国の七大方言
第13回	第8課 『今年二〇二幾年?』 (対面) 学習ポイント: 年/月/日/曜日/一日・名詞述語文・時間と時刻の言い方・コラム: 中国の七大方言
第14回	復習 発音の復習 (対面)
第15回	復習 第5課から第8課までの復習 (対面)
第16回	期末試験 (対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590041009	科目番号 / Course code	05900410
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11119_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (F(中2)_D1・D2) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	祁 建民 / Ki Kenmin		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	祁 建民 / Ki Kenmin		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	祁 建民 / Ki Kenmin		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	F(中2)_D1・D2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	qjmjp▲sun.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務局)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日3時限		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1時間/回) 復習: 教科書・プリントの該当箇所を復習すること(1時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト: 楊曉安・高芳『ポイントチェック・初級中国語』(同学社) 辞書: 日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	授業は全回出席することが原則であり、授業への出席が授業回数の3分の2に達していない場合は、期末テストを受けることはできません。遅刻3回は欠席1回の扱いとします。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2974 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 発音(1) (対面) 母音(1) a/o/e/i/u/ai/ei/ao/ou / 子音(1) 唇音b/p/m/f 舌尖音d/t/n/l / 声調(1) 四声/子声調記号のつけ方/有気音と無気音
第2回	第2課 発音(2) (対面) 母音(2) an/en/ang/eng/ong/ua/uo/uai/uei(ui)/uan/uen(un)/uang/ueng / 子音(2) 舌根音 g/k/h / 声調(2) 軽声/鼻音nとngを伴う母音
第3回	第3課 発音(3) (対面) 母音(3) ia/ie/iao/iou(iu) /ian/in/iang/ing/iong/üe/üan/ün ・子音(3) 舌面音j/q/x ・声調(3) “不” bùの変調 ・ウムラウト(¨)の省略
第4回	第4課 発音(4) (対面) 母音(4) 3種のi ・子音(4) そり舌音zh/ch/sh/r 舌歯音 z/c/s ・声調(4) 第3声の連続変調・“儿化”r (アル)化の音・隔音符号
第5回	発音の復習 (対面) 子音一覧表・母音一覧表・音節の基本構造・母音が単独で音節をなす時の表記法・声調の組み合わせ
第6回	第5課 『你叫什麼名字?』 (対面) 学習ポイント: 名前の言い方・尋ね方・人称代名詞・判断文(動詞“是”)・“吗”疑問文・コラム: 中国の人口
第7回	第5課 『你叫什麼名字?』 (対面) 学習ポイント: 名前の言い方・尋ね方・人称代名詞・判断文(動詞“是”)・“吗”疑問文・コラム: 中国の人口
第8回	第6課 『你家有幾口人?』 (対面) 学習ポイント: 家族の呼称・所有の“有”・数詞(中国語の数え方)・常用量詞・コラム: 中国の民族構成
第9回	第6課 『你家有幾口人?』 (対面) 学習ポイント: 家族の呼称・所有の“有”・数詞(中国語の数え方)・常用量詞・コラム: 中国の民族構成
第10回	第7課 『這是什麼?』 (対面) 学習ポイント: 指示代名詞・副詞「也」・「都」・構造助詞「的 de」・疑問詞「什么」・コラム: 中国地形の三大特徴
第11回	第7課 『這是什麼?』 (対面) 学習ポイント: 指示代名詞・副詞「也」・「都」・構造助詞「的 de」・疑問詞「什么」・コラム: 中国地形の三大特徴
第12回	第8課 『今年二〇二幾年?』 (対面) 学習ポイント: 年/月/日/曜日/一日・名詞述語文・時間と時刻の言い方・コラム: 中国の七大方言
第13回	第8課 『今年二〇二幾年?』 (対面) 学習ポイント: 年/月/日/曜日/一日・名詞述語文・時間と時刻の言い方・コラム: 中国の七大方言
第14回	復習 発音の復習 (対面)
第15回	復習 第5課から第8課までの復習 (対面)
第16回	期末試験 (対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590041010	科目番号 / Course code	05900410
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11119_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (L(中1)_J(中2)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	周 国強 / Syu Kokkyo		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	周 国強 / Syu Kokkyo		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	周 国強 / Syu Kokkyo		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	L(中1)_J(中2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	zgg▲sun.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 12:00 ~ 13:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1時間/回) 復習: 教科書・プリントの該当箇所を復習すること(1時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト: 楊曉安・高芳『ポイントチェック・初級中国語』(同学社) 辞書: 日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	授業は全回出席することが原則であり、授業への出席が授業回数の3分の2に達していない場合は、期末テストを受けることはできません。遅刻3回は欠席1回の扱いとします。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (Tel) 095-819-2006 (Fax) 095-819-2974 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 発音(1) (対面) 母音(1) a/o/e/i/u/ai/ei/ao/ou / 子音(1) 唇音b/p/m/f 舌尖音d/t/n/l / 声調(1) 四声/子声調記号のつけ方/有気音と無気音
第2回	第2課 発音(2) (対面) 母音(2) an/en/ang/eng/ong/ua/uo/uai/uei(ui)/uan/uen(un)/uang/ueng / 子音(2) 舌根音 g/k/h / 声調(2) 軽声/鼻音nとngを伴う母音
第3回	第3課 発音(3) (対面) 母音(3) ia/ie/iao/iou(iu) /ian/in/iang/ing/iong/üe/üan/ün ・子音(3) 舌面音j/q/x ・声調(3) “不” bùの変調 ・ウムラウト(¨)の省略
第4回	第4課 発音(4) (対面) 母音(4) 3種のi ・子音(4) そり舌音zh/ch/sh/r 舌歯音 z/c/s ・声調(4) 第3声の連続変調・“儿化”r (アル)化の音・隔音符号
第5回	発音の復習 (対面) 子音一覧表・母音一覧表・音節の基本構造・母音が単独で音節をなす時の表記法・声調の組み合わせ
第6回	第5課 『你叫什麼名字?』 (対面) 学習ポイント: 名前の言い方・尋ね方・人称代名詞・判断文(動詞“是”)・“吗”疑問文・コラム: 中国の人口
第7回	第5課 『你叫什麼名字?』 (対面) 学習ポイント: 名前の言い方・尋ね方・人称代名詞・判断文(動詞“是”)・“吗”疑問文・コラム: 中国の人口
第8回	第6課 『你家有幾口人?』 (対面) 学習ポイント: 家族の呼称・所有の“有”・数詞(中国語の数え方)・常用量詞・コラム: 中国の民族構成
第9回	第6課 『你家有幾口人?』 (対面) 学習ポイント: 家族の呼称・所有の“有”・数詞(中国語の数え方)・常用量詞・コラム: 中国の民族構成
第10回	第7課 『這是什麼?』 (対面) 学習ポイント: 指示代名詞・副詞「也」・「都」・構造助詞「的 de」・疑問詞「什么」・コラム: 中国地形の三大特徴
第11回	第7課 『這是什麼?』 (対面) 学習ポイント: 指示代名詞・副詞「也」・「都」・構造助詞「的 de」・疑問詞「什么」・コラム: 中国地形の三大特徴
第12回	第8課 『今年二〇二幾年?』 (対面) 学習ポイント: 年/月/日/曜日/一日・名詞述語文・時間と時刻の言い方・コラム: 中国の七大方言
第13回	第8課 『今年二〇二幾年?』 (対面) 学習ポイント: 年/月/日/曜日/一日・名詞述語文・時間と時刻の言い方・コラム: 中国の七大方言
第14回	復習 発音の復習 (対面)
第15回	復習 第5課から第8課までの復習 (対面)
第16回	期末試験 (対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590041011	科目番号 / Course code	05900410
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11119_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (T(中5)_K(中1)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	祁 建民 / Ki Kenmin		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	祁 建民 / Ki Kenmin		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	祁 建民 / Ki Kenmin		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	T(中5)_K(中1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	qjmjp▲sun.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日3時限		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1時間/回) 復習：教科書・プリントの該当箇所を復習すること(1時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト：楊曉安・高芳『ポイントチェック・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	授業は全回出席することが原則であり、授業への出席が授業回数の3分の2に達していない場合は、期末テストを受けることはできません。遅刻3回は欠席1回の扱いとします。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (Tel) 095-819-2006 (Fax) 095-819-2974 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 発音(1) (対面) 母音(1) a/o/e/i/u/ai/ei/ao/ou / 子音(1) 唇音b/p/m/f 舌尖音d/t/n/l / 声調(1) 四声/子声調記号のつけ方/有気音と無気音
第2回	第2課 発音(2) (対面) 母音(2) an/en/ang/eng/ong/ua/uo/uai/uei(ui)/uan/uen(un)/uang/ueng / 子音(2) 舌根音 g/k/h / 声調(2) 軽声/鼻音nとngを伴う母音
第3回	第3課 発音(3) (対面) 母音(3) ia/ie/iao/iou(iu) /ian/in/iang/ing/iong/üe/üan/ün ・子音(3) 舌面音j/q/x ・声調(3) “不” bùの変調 ・ウムラウト(¨)の省略
第4回	第4課 発音(4) (対面) 母音(4) 3種のi ・子音(4) そり舌音zh/ch/sh/r 舌歯音 z/c/s ・声調(4) 第3声の連続変調・“儿化” r (アル) 化の音・隔音符号
第5回	発音の復習 (対面) 子音一覧表・母音一覧表・音節の基本構造・母音が単独で音節をなす時の表記法・声調の組み合わせ
第6回	第5課 『你叫什麼名字?』 (対面) 学習ポイント: 名前の言い方・尋ね方・人称代名詞・判断文(動詞“是”)・“吗”疑問文・コラム: 中国の人口
第7回	第5課 『你叫什麼名字?』 (対面) 学習ポイント: 名前の言い方・尋ね方・人称代名詞・判断文(動詞“是”)・“吗”疑問文・コラム: 中国の人口
第8回	第6課 『你家有幾口人?』 (対面) 学習ポイント: 家族の呼称・所有の“有”・数詞(中国語の数え方)・常用量詞・コラム: 中国の民族構成
第9回	第6課 『你家有幾口人?』 (対面) 学習ポイント: 家族の呼称・所有の“有”・数詞(中国語の数え方)・常用量詞・コラム: 中国の民族構成
第10回	第7課 『這是什麼?』 (対面) 学習ポイント: 指示代名詞・副詞「也」・「都」・構造助詞「的 de」・疑問詞「什么」・コラム: 中国地形の三大特徴
第11回	第7課 『這是什麼?』 (対面) 学習ポイント: 指示代名詞・副詞「也」・「都」・構造助詞「的 de」・疑問詞「什么」・コラム: 中国地形の三大特徴
第12回	第8課 『今年二〇二幾年?』 (対面) 学習ポイント: 年/月/日/曜日/一日・名詞述語文・時間と時刻の言い方・コラム: 中国の七大方言
第13回	第8課 『今年二〇二幾年?』 (対面) 学習ポイント: 年/月/日/曜日/一日・名詞述語文・時間と時刻の言い方・コラム: 中国の七大方言
第14回	復習 発音の復習 (対面)
第15回	復習 第5課から第8課までの復習 (対面)
第16回	期末試験 (対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590041012	科目番号 / Course code	05900410
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11119_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (T(中1)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 愛莉 / Ryu Airi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 愛莉 / Ryu Airi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 愛莉 / Ryu Airi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	T(中1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kym_ar▲hotmail.com (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業曜日12:00~12:40		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1時間/回) 復習: 教科書・プリントの該当箇所を復習すること(1時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト: 楊曉安・高芳『ポイントチェック・初級中国語』(同学社) 辞書: 日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	授業は全回出席することが原則であり、授業への出席が授業回数の3分の2に達していない場合は、期末テストを受けることはできません。遅刻3回は欠席1回の扱いとします。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (Tel) 095-819-2006 (Fax) 095-819-2974 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 発音(1) (対面) 母音(1) a/o/e/i/u/ai/ei/ao/ou / 子音(1) 唇音b/p/m/f 舌尖音d/t/n/l / 声調(1) 四声/子声調記号のつけ方/有気音と無気音
第2回	第2課 発音(2) (対面) 母音(2) an/en/ang/eng/ong/ua/uo/uai/uei(ui)/uan/uen(un)/uang/ueng / 子音(2) 舌根音 g/k/h / 声調(2) 軽声/鼻音nとngを伴う母音
第3回	第3課 発音(3) (対面) 母音(3) ia/ie/iao/iou(iu) /ian/in/iang/ing/iong/üe/üan/ün ・子音(3) 舌面音j/q/x ・声調(3) “不” bùの変調 ・ウムラウト(¨)の省略
第4回	第4課 発音(4) (対面) 母音(4) 3種のi ・子音(4) そり舌音zh/ch/sh/r 舌歯音 z/c/s ・声調(4) 第3声の連続変調・“儿化”r (アル)化の音・隔音符号
第5回	発音の復習 (対面) 子音一覧表・母音一覧表・音節の基本構造・母音が単独で音節をなす時の表記法・声調の組み合わせ
第6回	第5課 『你叫什麼名字?』 (対面) 学習ポイント: 名前の言い方・尋ね方・人称代名詞・判断文(動詞“是”)・“吗”疑問文・コラム: 中国の人口
第7回	第5課 『你叫什麼名字?』 (対面) 学習ポイント: 名前の言い方・尋ね方・人称代名詞・判断文(動詞“是”)・“吗”疑問文・コラム: 中国の人口
第8回	第6課 『你家有幾口人?』 (対面) 学習ポイント: 家族の呼称・所有の“有”・数詞(中国語の数え方)・常用量詞・コラム: 中国の民族構成
第9回	第6課 『你家有幾口人?』 (対面) 学習ポイント: 家族の呼称・所有の“有”・数詞(中国語の数え方)・常用量詞・コラム: 中国の民族構成
第10回	第7課 『這是什麼?』 (対面) 学習ポイント: 指示代名詞・副詞「也」・「都」・構造助詞「的 de」・疑問詞「什么」・コラム: 中国地形の三大特徴
第11回	第7課 『這是什麼?』 (対面) 学習ポイント: 指示代名詞・副詞「也」・「都」・構造助詞「的 de」・疑問詞「什么」・コラム: 中国地形の三大特徴
第12回	第8課 『今年二〇二幾年?』 (対面) 学習ポイント: 年/月/日/曜日/一日・名詞述語文・時間と時刻の言い方・コラム: 中国の七大方言
第13回	第8課 『今年二〇二幾年?』 (対面) 学習ポイント: 年/月/日/曜日/一日・名詞述語文・時間と時刻の言い方・コラム: 中国の七大方言
第14回	復習 発音の復習 (対面)
第15回	復習 第5課から第8課までの復習 (対面)
第16回	期末試験 (対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590041013	科目番号 / Course code	05900410
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11119_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (T(中4)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 愛莉 / Ryu Airi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 愛莉 / Ryu Airi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 愛莉 / Ryu Airi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	T(中4)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kym_ar▲hotmail.com(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078(教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業曜日12:00~12:40		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1時間/回) 復習: 教科書・プリントの該当箇所を復習すること(1時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト: 楊曉安・高芳『ポイントチェック・初級中国語』(同学社) 辞書: 日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	授業は全回出席することが原則であり、授業への出席が授業回数の3分の2に達していない場合は、期末テストを受けることはできません。遅刻3回は欠席1回の扱いとします。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (Tel) 095-819-2006 (Fax) 095-819-2974 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 発音(1) (対面) 母音(1) a/o/e/i/u/ai/ei/ao/ou / 子音(1) 唇音b/p/m/f 舌尖音d/t/n/l / 声調(1) 四声/子声調記号のつけ方/有気音と無気音
第2回	第2課 発音(2) (対面) 母音(2) an/en/ang/eng/ong/ua/uo/uai/uei(ui)/uan/uen(un)/uang/ueng / 子音(2) 舌根音 g/k/h / 声調(2) 軽声/鼻音nとngを伴う母音
第3回	第3課 発音(3) (対面) 母音(3) ia/ie/iao/iou(iu) /ian/in/iang/ing/iong/üe/üan/ün ・子音(3) 舌面音j/q/x ・声調(3) “不” bùの変調 ・ウムラウト(¨)の省略
第4回	第4課 発音(4) (対面) 母音(4) 3種のi ・子音(4) そり舌音zh/ch/sh/r 舌歯音 z/c/s ・声調(4) 第3声の連続変調・“儿化” r (アル) 化の音・隔音符号
第5回	発音の復習 (対面) 子音一覧表・母音一覧表・音節の基本構造・母音が単独で音節をなす時の表記法・声調の組み合わせ
第6回	第5課 『你叫什麼名字?』 (対面) 学習ポイント: 名前の言い方・尋ね方・人称代名詞・判断文(動詞“是”)・“吗”疑問文・コラム: 中国の人口
第7回	第5課 『你叫什麼名字?』 (対面) 学習ポイント: 名前の言い方・尋ね方・人称代名詞・判断文(動詞“是”)・“吗”疑問文・コラム: 中国の人口
第8回	第6課 『你家有幾口人?』 (対面) 学習ポイント: 家族の呼称・所有の“有”・数詞(中国語の数え方)・常用量詞・コラム: 中国の民族構成
第9回	第6課 『你家有幾口人?』 (対面) 学習ポイント: 家族の呼称・所有の“有”・数詞(中国語の数え方)・常用量詞・コラム: 中国の民族構成
第10回	第7課 『這是什麼?』 (対面) 学習ポイント: 指示代名詞・副詞「也」・「都」・構造助詞「的 de」・疑問詞「什么」・コラム: 中国地形の三大特徴
第11回	第7課 『這是什麼?』 (対面) 学習ポイント: 指示代名詞・副詞「也」・「都」・構造助詞「的 de」・疑問詞「什么」・コラム: 中国地形の三大特徴
第12回	第8課 『今年二〇二幾年?』 (対面) 学習ポイント: 年/月/日/曜日/一日・名詞述語文・時間と時刻の言い方・コラム: 中国の七大方言
第13回	第8課 『今年二〇二幾年?』 (対面) 学習ポイント: 年/月/日/曜日/一日・名詞述語文・時間と時刻の言い方・コラム: 中国の七大方言
第14回	復習 発音の復習 (対面)
第15回	復習 第5課から第8課までの復習 (対面)
第16回	期末試験 (対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590041014	科目番号 / Course code	05900410
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11119_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (K(中2)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	笹田 和子 / Sasada Kazuko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	笹田 和子 / Sasada Kazuko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	笹田 和子 / Sasada Kazuko		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	K(中2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sasadakazuko▲yahoo.co.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1時間/回) 復習：教科書・プリントの該当箇所を復習すること(1時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト：楊曉安・高芳『ポイントチェック・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	授業は全回出席することが原則であり、授業への出席が授業回数の3分の2に達していない場合は、期末テストを受けることはできません。遅刻3回は欠席1回の扱いとします。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (Tel) 095-819-2006 (Fax) 095-819-2974 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 発音(1) (対面) 母音(1) a/o/e/i/u/ai/ei/ao/ou / 子音(1) 唇音b/p/m/f 舌尖音d/t/n/l / 声調(1) 四声/子声調記号のつけ方/有気音と無気音
第2回	第2課 発音(2) (対面) 母音(2) an/en/ang/eng/ong/ua/uo/uai/uei(ui)/uan/uen(un)/uang/ueng / 子音(2) 舌根音 g/k/h / 声調(2) 軽声/鼻音nとngを伴う母音
第3回	第3課 発音(3) (対面) 母音(3) ia/ie/iao/iou(iu) /ian/in/iang/ing/iong/üe/üan/ün ・子音(3) 舌面音j/q/x ・声調(3) “不” bùの変調 ・ウムラウト(¨)の省略
第4回	第4課 発音(4) (対面) 母音(4) 3種のi ・子音(4) そり舌音zh/ch/sh/r 舌歯音 z/c/s ・声調(4) 第3声の連続変調・“儿化”r (アル)化の音・隔音符号
第5回	発音の復習 (対面) 子音一覧表・母音一覧表・音節の基本構造・母音が単独で音節をなす時の表記法・声調の組み合わせ
第6回	第5課 『你叫什麼名字?』 (対面) 学習ポイント: 名前の言い方・尋ね方・人称代名詞・判断文(動詞“是”)・“吗”疑問文・コラム: 中国の人口
第7回	第5課 『你叫什麼名字?』 (対面) 学習ポイント: 名前の言い方・尋ね方・人称代名詞・判断文(動詞“是”)・“吗”疑問文・コラム: 中国の人口
第8回	第6課 『你家有幾口人?』 (対面) 学習ポイント: 家族の呼称・所有の“有”・数詞(中国語の数え方)・常用量詞・コラム: 中国の民族構成
第9回	第6課 『你家有幾口人?』 (対面) 学習ポイント: 家族の呼称・所有の“有”・数詞(中国語の数え方)・常用量詞・コラム: 中国の民族構成
第10回	第7課 『這是什麼?』 (対面) 学習ポイント: 指示代名詞・副詞「也」・「都」・構造助詞「的 de」・疑問詞「什么」・コラム: 中国地形の三大特徴
第11回	第7課 『這是什麼?』 (対面) 学習ポイント: 指示代名詞・副詞「也」・「都」・構造助詞「的 de」・疑問詞「什么」・コラム: 中国地形の三大特徴
第12回	第8課 『今年二〇二幾年?』 (対面) 学習ポイント: 年/月/日/曜日/一日・名詞述語文・時間と時刻の言い方・コラム: 中国の七大方言
第13回	第8課 『今年二〇二幾年?』 (対面) 学習ポイント: 年/月/日/曜日/一日・名詞述語文・時間と時刻の言い方・コラム: 中国の七大方言
第14回	復習 発音の復習 (対面)
第15回	復習 第5課から第8課までの復習 (対面)
第16回	期末試験 (対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590041015	科目番号 / Course code	05900410
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11119_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (J(中1)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	笹田 和子 / Sasada Kazuko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	笹田 和子 / Sasada Kazuko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	笹田 和子 / Sasada Kazuko		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	J(中1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sasadakazuko▲yahoo.co.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1時間/回) 復習：教科書・プリントの該当箇所を復習すること(1時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト：楊曉安・高芳『ポイントチェック・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	授業は全回出席することが原則であり、授業への出席が授業回数の3分の2に達していない場合は、期末テストを受けることはできません。遅刻3回は欠席1回の扱いとします。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (Tel) 095-819-2006 (Fax) 095-819-2974 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 発音(1) (対面) 母音(1) a/o/e/i/u/ai/ei/ao/ou / 子音(1) 唇音b/p/m/f 舌尖音d/t/n/l / 声調(1) 四声/子声調記号のつけ方/有気音と無気音
第2回	第2課 発音(2) (対面) 母音(2) an/en/ang/eng/ong/ua/uo/uai/uei(ui)/uan/uen(un)/uang/ueng / 子音(2) 舌根音 g/k/h / 声調(2) 軽声/鼻音nとngを伴う母音
第3回	第3課 発音(3) (対面) 母音(3) ia/ie/iao/iou(iu) /ian/in/iang/ing/iong/üe/üan/ün ・子音(3) 舌面音j/q/x ・声調(3) “不” bùの変調 ・ウムラウト(¨)の省略
第4回	第4課 発音(4) (対面) 母音(4) 3種のi ・子音(4) そり舌音zh/ch/sh/r 舌歯音 z/c/s ・声調(4) 第3声の連続変調・“儿化”r (アル)化の音・隔音符号
第5回	発音の復習 (対面) 子音一覧表・母音一覧表・音節の基本構造・母音が単独で音節をなす時の表記法・声調の組み合わせ
第6回	第5課 『你叫什麼名字?』 (対面) 学習ポイント: 名前の言い方・尋ね方・人称代名詞・判断文(動詞“是”)・“吗”疑問文・コラム: 中国の人口
第7回	第5課 『你叫什麼名字?』 (対面) 学習ポイント: 名前の言い方・尋ね方・人称代名詞・判断文(動詞“是”)・“吗”疑問文・コラム: 中国の人口
第8回	第6課 『你家有幾口人?』 (対面) 学習ポイント: 家族の呼称・所有の“有”・数詞(中国語の数え方)・常用量詞・コラム: 中国の民族構成
第9回	第6課 『你家有幾口人?』 (対面) 学習ポイント: 家族の呼称・所有の“有”・数詞(中国語の数え方)・常用量詞・コラム: 中国の民族構成
第10回	第7課 『這是什麼?』 (対面) 学習ポイント: 指示代名詞・副詞「也」・「都」・構造助詞「的 de」・疑問詞「什么」・コラム: 中国地形の三大特徴
第11回	第7課 『這是什麼?』 (対面) 学習ポイント: 指示代名詞・副詞「也」・「都」・構造助詞「的 de」・疑問詞「什么」・コラム: 中国地形の三大特徴
第12回	第8課 『今年二〇二幾年?』 (対面) 学習ポイント: 年/月/日/曜日/一日・名詞述語文・時間と時刻の言い方・コラム: 中国の七大方言
第13回	第8課 『今年二〇二幾年?』 (対面) 学習ポイント: 年/月/日/曜日/一日・名詞述語文・時間と時刻の言い方・コラム: 中国の七大方言
第14回	復習 発音の復習 (対面)
第15回	復習 第5課から第8課までの復習 (対面)
第16回	期末試験 (対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590041016	科目番号 / Course code	05900410
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11119_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (M1 ~ M3) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 愛莉 / Ryu Airi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 愛莉 / Ryu Airi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 愛莉 / Ryu Airi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	M1 ~ M3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kym_ar▲hotmail.com (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業曜日12:00 ~ 12:40		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1時間/回) 復習: 教科書・プリントの該当箇所を復習すること(1時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト: 楊曉安・高芳『ポイントチェック・初級中国語』(同学社) 辞書: 日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	授業は全回出席することが原則であり、授業への出席が授業回数の3分の2に達していない場合は、期末テストを受けることはできません。遅刻3回は欠席1回の扱いとします。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (Tel) 095-819-2006 (Fax) 095-819-2974 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 発音(1) (対面) 母音(1) a/o/e/i/u/ai/ei/ao/ou / 子音(1) 唇音b/p/m/f 舌尖音d/t/n/l / 声調(1) 四声/子声調記号のつけ方/有気音と無気音
第2回	第2課 発音(2) (対面) 母音(2) an/en/ang/eng/ong/ua/uo/uai/uei(ui)/uan/uen(un)/uang/ueng / 子音(2) 舌根音 g/k/h / 声調(2) 軽声/鼻音nとngを伴う母音
第3回	第3課 発音(3) (対面) 母音(3) ia/ie/iao/iou(iu) /ian/in/iang/ing/iong/üe/üan/ün ・子音(3) 舌面音j/q/x ・声調(3) “不” bùの変調 ・ウムラウト(¨)の省略
第4回	第4課 発音(4) (対面) 母音(4) 3種のi ・子音(4) そり舌音zh/ch/sh/r 舌歯音 z/c/s ・声調(4) 第3声の連続変調・“儿化” r (アル) 化の音・隔音符号
第5回	発音の復習 (対面) 子音一覧表・母音一覧表・音節の基本構造・母音が単独で音節をなす時の表記法・声調の組み合わせ
第6回	第5課 『你叫什麼名字?』 (対面) 学習ポイント: 名前の言い方・尋ね方・人称代名詞・判断文(動詞“是”)・“吗”疑問文・コラム: 中国の人口
第7回	第5課 『你叫什麼名字?』 (対面) 学習ポイント: 名前の言い方・尋ね方・人称代名詞・判断文(動詞“是”)・“吗”疑問文・コラム: 中国の人口
第8回	第6課 『你家有幾口人?』 (対面) 学習ポイント: 家族の呼称・所有の“有”・数詞(中国語の数え方)・常用量詞・コラム: 中国の民族構成
第9回	第6課 『你家有幾口人?』 (対面) 学習ポイント: 家族の呼称・所有の“有”・数詞(中国語の数え方)・常用量詞・コラム: 中国の民族構成
第10回	第7課 『這是什麼?』 (対面) 学習ポイント: 指示代名詞・副詞「也」・「都」・構造助詞「的 de」・疑問詞「什么」・コラム: 中国地形の三大特徴
第11回	第7課 『這是什麼?』 (対面) 学習ポイント: 指示代名詞・副詞「也」・「都」・構造助詞「的 de」・疑問詞「什么」・コラム: 中国地形の三大特徴
第12回	第8課 『今年二〇二幾年?』 (対面) 学習ポイント: 年/月/日/曜日/一日・名詞述語文・時間と時刻の言い方・コラム: 中国の七大方言
第13回	第8課 『今年二〇二幾年?』 (対面) 学習ポイント: 年/月/日/曜日/一日・名詞述語文・時間と時刻の言い方・コラム: 中国の七大方言
第14回	復習 発音の復習 (対面)
第15回	復習 第5課から第8課までの復習 (対面)
第16回	期末試験 (対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590041017	科目番号 / Course code	05900410
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11119_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (T(中3)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 愛莉 / Ryu Airi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 愛莉 / Ryu Airi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 愛莉 / Ryu Airi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	T(中3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kym_ar▲hotmail.com (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業曜日12:00~12:40		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1時間/回) 復習: 教科書・プリントの該当箇所を復習すること(1時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト: 楊曉安・高芳『ポイントチェック・初級中国語』(同学社) 辞書: 日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	授業は全回出席することが原則であり、授業への出席が授業回数の3分の2に達していない場合は、期末テストを受けることはできません。遅刻3回は欠席1回の扱いとします。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (Tel) 095-819-2006 (Fax) 095-819-2974 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 発音(1) (対面) 母音(1) a/o/e/i/u/ai/ei/ao/ou / 子音(1) 唇音b/p/m/f 舌尖音d/t/n/l / 声調(1) 四声/子声調記号のつけ方/有気音と無気音
第2回	第2課 発音(2) (対面) 母音(2) an/en/ang/eng/ong/ua/uo/uai/uei(ui)/uan/uen(un)/uang/ueng / 子音(2) 舌根音 g/k/h / 声調(2) 軽声/鼻音nとngを伴う母音
第3回	第3課 発音(3) (対面) 母音(3) ia/ie/iao/iou(iu) /ian/in/iang/ing/iong/üe/üan/ün ・子音(3) 舌面音j/q/x ・声調(3) “不” bùの変調 ・ウムラウト(¨)の省略
第4回	第4課 発音(4) (対面) 母音(4) 3種のi ・子音(4) そり舌音zh/ch/sh/r 舌歯音 z/c/s ・声調(4) 第3声の連続変調・“儿化” r (アル) 化の音・隔音符号
第5回	発音の復習 (対面) 子音一覧表・母音一覧表・音節の基本構造・母音が単独で音節をなす時の表記法・声調の組み合わせ
第6回	第5課 『你叫什麼名字?』 (対面) 学習ポイント: 名前の言い方・尋ね方・人称代名詞・判断文(動詞“是”)・“吗”疑問文・コラム: 中国の人口
第7回	第5課 『你叫什麼名字?』 (対面) 学習ポイント: 名前の言い方・尋ね方・人称代名詞・判断文(動詞“是”)・“吗”疑問文・コラム: 中国の人口
第8回	第6課 『你家有幾口人?』 (対面) 学習ポイント: 家族の呼称・所有の“有”・数詞(中国語の数え方)・常用量詞・コラム: 中国の民族構成
第9回	第6課 『你家有幾口人?』 (対面) 学習ポイント: 家族の呼称・所有の“有”・数詞(中国語の数え方)・常用量詞・コラム: 中国の民族構成
第10回	第7課 『這是什麼?』 (対面) 学習ポイント: 指示代名詞・副詞「也」・「都」・構造助詞「的 de」・疑問詞「什么」・コラム: 中国地形の三大特徴
第11回	第7課 『這是什麼?』 (対面) 学習ポイント: 指示代名詞・副詞「也」・「都」・構造助詞「的 de」・疑問詞「什么」・コラム: 中国地形の三大特徴
第12回	第8課 『今年二〇二幾年?』 (対面) 学習ポイント: 年/月/日/曜日/一日・名詞述語文・時間と時刻の言い方・コラム: 中国の七大方言
第13回	第8課 『今年二〇二幾年?』 (対面) 学習ポイント: 年/月/日/曜日/一日・名詞述語文・時間と時刻の言い方・コラム: 中国の七大方言
第14回	復習 発音の復習 (対面)
第15回	復習 第5課から第8課までの復習 (対面)
第16回	期末試験 (対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590041018	科目番号 / Course code	05900410
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11119_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (M4 ~ M6) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	李 偉		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	李 偉		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	李 偉		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	M4 ~ M6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	waiwaijp▲gmail.com (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1時間/回) 復習: 教科書・プリントの該当箇所を復習すること(1時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト: 楊曉安・高芳『ポイントチェック・初級中国語』(同学社) 辞書: 日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	授業は全回出席することが原則であり、授業への出席が授業回数の3分の2に達していない場合は、期末テストを受けることはできません。遅刻3回は欠席1回の扱いとします。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2974 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 発音(1) (対面) 母音(1) a/o/e/i/u/ai/ei/ao/ou / 子音(1) 唇音b/p/m/f 舌尖音d/t/n/l / 声調(1) 四声/子声調記号のつけ方/有気音と無気音
第2回	第2課 発音(2) (対面) 母音(2) an/en/ang/eng/ong/ua/uo/uai/uei(ui)/uan/uen(un)/uang/ueng / 子音(2) 舌根音 g/k/h / 声調(2) 軽声/鼻音nとngを伴う母音
第3回	第3課 発音(3) (対面) 母音(3) ia/ie/iao/iou(iu) /ian/in/iang/ing/iong/üe/üan/ün ・子音(3) 舌面音j/q/x ・声調(3) “不” bùの変調 ・ウムラウト(¨)の省略
第4回	第4課 発音(4) (対面) 母音(4) 3種のi ・子音(4) そり舌音zh/ch/sh/r 舌歯音 z/c/s ・声調(4) 第3声の連続変調・“儿化” r (アル) 化の音・隔音符号
第5回	発音の復習 (対面) 子音一覧表・母音一覧表・音節の基本構造・母音が単独で音節をなす時の表記法・声調の組み合わせ
第6回	第5課 『你叫什麼名字?』 (対面) 学習ポイント: 名前の言い方・尋ね方・人称代名詞・判断文(動詞“是”)・“吗”疑問文・コラム: 中国の人口
第7回	第5課 『你叫什麼名字?』 (対面) 学習ポイント: 名前の言い方・尋ね方・人称代名詞・判断文(動詞“是”)・“吗”疑問文・コラム: 中国の人口
第8回	第6課 『你家有幾口人?』 (対面) 学習ポイント: 家族の呼称・所有の“有”・数詞(中国語の数え方)・常用量詞・コラム: 中国の民族構成
第9回	第6課 『你家有幾口人?』 (対面) 学習ポイント: 家族の呼称・所有の“有”・数詞(中国語の数え方)・常用量詞・コラム: 中国の民族構成
第10回	第7課 『這是什麼?』 (対面) 学習ポイント: 指示代名詞・副詞「也」・「都」・構造助詞「的 de」・疑問詞「什么」・コラム: 中国地形の三大特徴
第11回	第7課 『這是什麼?』 (対面) 学習ポイント: 指示代名詞・副詞「也」・「都」・構造助詞「的 de」・疑問詞「什么」・コラム: 中国地形の三大特徴
第12回	第8課 『今年二〇二幾年?』 (対面) 学習ポイント: 年/月/日/曜日/一日・名詞述語文・時間と時刻の言い方・コラム: 中国の七大方言
第13回	第8課 『今年二〇二幾年?』 (対面) 学習ポイント: 年/月/日/曜日/一日・名詞述語文・時間と時刻の言い方・コラム: 中国の七大方言
第14回	復習 発音の復習 (対面)
第15回	復習 第5課から第8課までの復習 (対面)
第16回	期末試験 (対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590041019	科目番号 / Course code	05900410
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11119_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (T(中2)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	李 偉		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	李 偉		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	李 偉		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	T(中2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	waiwaijp▲gmail.com (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務局)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1時間/回) 復習：教科書・プリントの該当箇所を復習すること(1時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト：楊曉安・高芳『ポイントチェック・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	授業は全回出席することが原則であり、授業への出席が授業回数の3分の2に達していない場合は、期末テストを受けることはできません。遅刻3回は欠席1回の扱いとします。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (Tel) 095-819-2006 (Fax) 095-819-2974 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 発音(1) (対面) 母音(1) a/o/e/i/u/ai/ei/ao/ou / 子音(1) 唇音b/p/m/f 舌尖音d/t/n/l / 声調(1) 四声/子声調記号のつけ方/有気音と無気音
第2回	第2課 発音(2) (対面) 母音(2) an/en/ang/eng/ong/ua/uo/uai/uei(ui)/uan/uen(un)/uang/ueng / 子音(2) 舌根音 g/k/h / 声調(2) 軽声/鼻音nとngを伴う母音
第3回	第3課 発音(3) (対面) 母音(3) ia/ie/iao/iou(iu) /ian/in/iang/ing/iong/üe/üan/ün ・子音(3) 舌面音j/q/x ・声調(3) “不” bùの変調 ・ウムラウト(¨)の省略
第4回	第4課 発音(4) (対面) 母音(4) 3種のi ・子音(4) そり舌音zh/ch/sh/r 舌歯音 z/c/s ・声調(4) 第3声の連続変調・“儿化”r (アル)化の音・隔音符号
第5回	発音の復習 (対面) 子音一覧表・母音一覧表・音節の基本構造・母音が単独で音節をなす時の表記法・声調の組み合わせ
第6回	第5課 『你叫什麼名字?』 (対面) 学習ポイント: 名前の言い方・尋ね方・人称代名詞・判断文(動詞“是”)・“吗”疑問文・コラム: 中国の人口
第7回	第5課 『你叫什麼名字?』 (対面) 学習ポイント: 名前の言い方・尋ね方・人称代名詞・判断文(動詞“是”)・“吗”疑問文・コラム: 中国の人口
第8回	第6課 『你家有幾口人?』 (対面) 学習ポイント: 家族の呼称・所有の“有”・数詞(中国語の数え方)・常用量詞・コラム: 中国の民族構成
第9回	第6課 『你家有幾口人?』 (対面) 学習ポイント: 家族の呼称・所有の“有”・数詞(中国語の数え方)・常用量詞・コラム: 中国の民族構成
第10回	第7課 『這是什麼?』 (対面) 学習ポイント: 指示代名詞・副詞「也」・「都」・構造助詞「的 de」・疑問詞「什么」・コラム: 中国地形の三大特徴
第11回	第7課 『這是什麼?』 (対面) 学習ポイント: 指示代名詞・副詞「也」・「都」・構造助詞「的 de」・疑問詞「什么」・コラム: 中国地形の三大特徴
第12回	第8課 『今年二〇二幾年?』 (対面) 学習ポイント: 年/月/日/曜日/一日・名詞述語文・時間と時刻の言い方・コラム: 中国の七大方言
第13回	第8課 『今年二〇二幾年?』 (対面) 学習ポイント: 年/月/日/曜日/一日・名詞述語文・時間と時刻の言い方・コラム: 中国の七大方言
第14回	復習 発音の復習 (対面)
第15回	復習 第5課から第8課までの復習 (対面)
第16回	期末試験 (対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590043001	科目番号 / Course code	05900430
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11219_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (L(中2)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	王 迪 / Di Wang		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	王 迪 / Di Wang		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	王 迪 / Di Wang		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	L(中2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	wd2000jp▲yahoo.co.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業がある日の6時まで		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1時間/回) 復習: 教科書・プリントの該当箇所を復習すること(1時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト: 楊曉安・高芳『ポイントチェック・初級中国語』(同学社) 辞書: 日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	授業は全回出席することが原則であり、授業への出席が授業回数の3分の2に達していない場合は、期末テストを受けることはできません。遅刻3回は欠席1回の扱いとします。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (Tel) 095-819-2006 (Fax) 095-819-2974 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第9課 『你去哪儿?』 (対面) 学習ポイント: 疑問詞・存在を表す動詞「有」と「在」・方向や位置を表す語・コラム: 中国の十大古都
第2回	第9課 『你去哪儿?』 (対面) 学習ポイント: 疑問詞・存在を表す動詞「有」と「在」・方向や位置を表す語・コラム: 中国の十大古都
第3回	第10課 『你家離學校遠嗎?』 (対面) 学習ポイント: 介詞「从、到、离」・二重目的語・変化表す「了」・構造助詞「地」・コラム: 中国の八大名山
第4回	第10課 『你家離學校遠嗎?』 (対面) 学習ポイント: 介詞「从、到、离」・二重目的語・変化表す「了」・構造助詞「地」・コラム: 中国の八大名山
第5回	第11課 『東京冬天冷不冷?』 (対面) 学習ポイント: 形容詞述語文・程度副詞・比較の表現・「有点儿」和「一点儿」・コラム: 中国の世界遺産
第6回	第11課 『東京冬天冷不冷?』 (対面) 学習ポイント: 形容詞述語文・程度副詞・比較の表現・「有点儿」和「一点儿」・コラム: 中国の世界遺産
第7回	第12課 『媽媽在幹什麼?』 (対面) 学習ポイント: アスペクト助詞「着、了、过」・動詞・副詞・介詞(前置詞)の「在」・助動詞「想」「喜欢」「打算」・コラム: 中国の一級行政区画
第8回	第12課 『媽媽在幹什麼?』 (対面) 学習ポイント: アスペクト助詞「着、了、过」・動詞・副詞・介詞(前置詞)の「在」・助動詞「想」「喜欢」「打算」・コラム: 中国の一級行政区画
第9回	第13課 『你會開汽車嗎?』 (対面) 学習ポイント: 助動詞「会、能、可以」・連動文・時間詞と時量詞・コラム: 中国の八大料理
第10回	第13課 『你會開汽車嗎?』 (対面) 学習ポイント: 助動詞「会、能、可以」・連動文・時間詞と時量詞・コラム: 中国の八大料理
第11回	第14課 『你怎麼又吃餃子?』 (対面) 学習ポイント: 副詞「又」と「再」・選択疑問文・「把」構文・受身の表現・コラム: 中国学校教育の制度
第12回	第14課 『你怎麼又吃餃子?』 (対面) 学習ポイント: 副詞「又」と「再」・選択疑問文・「把」構文・受身の表現・コラム: 中国学校教育の制度
第13回	第15課 『今天我買了很多酒』 (対面) 学習ポイント: 構造助詞「得」・使役文・動詞と前置詞の「给」・原因・方法を問う「怎么」・コラム: 中国十大都市
第14回	第15課 『今天我買了很多酒』 (対面) 学習ポイント: 構造助詞「得」・使役文・動詞と前置詞の「给」・原因・方法を問う「怎么」・コラム: 中国十大都市
第15回	総合復習(対面)
第16回	期末試験(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590043002	科目番号 / Course code	05900430
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11219_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (L(中3)_P1・P2) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高 芳 / Kou Hou		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	高 芳 / Kou Hou		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	高 芳 / Kou Hou		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	L(中3)_P1・P2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	gaofang▲sun.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	当日授業の教室で、授業のすぐあと		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1時間/回) 復習：教科書・プリントの該当箇所を復習すること(1時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト：楊曉安・高芳『ポイントチェック・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	授業は全回出席することが原則であり、授業への出席が授業回数の3分の2に達していない場合は、期末テストを受けることはできません。遅刻3回は欠席1回の扱いとします。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (Tel) 095-819-2006 (Fax) 095-819-2974 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第9課 『你去哪儿?』 (対面) 学習ポイント: 疑問詞・存在を表す動詞「有」と「在」・方向や位置を表す語・コラム: 中国の十大古都
第2回	第9課 『你去哪儿?』 (対面) 学習ポイント: 疑問詞・存在を表す動詞「有」と「在」・方向や位置を表す語・コラム: 中国の十大古都
第3回	第10課 『你家離學校遠嗎?』 (対面) 学習ポイント: 介詞「从、到、离」・二重目的語・変化表す「了」・構造助詞「地」・コラム: 中国の八大名山
第4回	第10課 『你家離學校遠嗎?』 (対面) 学習ポイント: 介詞「从、到、离」・二重目的語・変化表す「了」・構造助詞「地」・コラム: 中国の八大名山
第5回	第11課 『東京冬天冷不冷?』 (対面) 学習ポイント: 形容詞述語文・程度副詞・比較の表現・「有点儿」和「一点儿」・コラム: 中国の世界遺産
第6回	第11課 『東京冬天冷不冷?』 (対面) 学習ポイント: 形容詞述語文・程度副詞・比較の表現・「有点儿」和「一点儿」・コラム: 中国の世界遺産
第7回	第12課 『媽媽在幹什麼?』 (対面) 学習ポイント: アスペクト助詞「着、了、过」・動詞・副詞・介詞(前置詞)の「在」・助動詞「想」「喜欢」「打算」・コラム: 中国の一級行政区画
第8回	第12課 『媽媽在幹什麼?』 (対面) 学習ポイント: アスペクト助詞「着、了、过」・動詞・副詞・介詞(前置詞)の「在」・助動詞「想」「喜欢」「打算」・コラム: 中国の一級行政区画
第9回	第13課 『你會開汽車嗎?』 (対面) 学習ポイント: 助動詞「会、能、可以」・連動文・時間詞と時量詞・コラム: 中国の八大料理
第10回	第13課 『你會開汽車嗎?』 (対面) 学習ポイント: 助動詞「会、能、可以」・連動文・時間詞と時量詞・コラム: 中国の八大料理
第11回	第14課 『你怎麼又吃餃子?』 (対面) 学習ポイント: 副詞「又」と「再」・選択疑問文・「把」構文・受身の表現・コラム: 中国学校教育の制度
第12回	第14課 『你怎麼又吃餃子?』 (対面) 学習ポイント: 副詞「又」と「再」・選択疑問文・「把」構文・受身の表現・コラム: 中国学校教育の制度
第13回	第15課 『今天我買了很多酒』 (対面) 学習ポイント: 構造助詞「得」・使役文・動詞と前置詞の「给」・原因・方法を問う「怎么」・コラム: 中国十大都市
第14回	第15課 『今天我買了很多酒』 (対面) 学習ポイント: 構造助詞「得」・使役文・動詞と前置詞の「给」・原因・方法を問う「怎么」・コラム: 中国十大都市
第15回	総合復習(対面)
第16回	期末試験(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590043003	科目番号 / Course code	05900430
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11219_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (E(中4)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高 芳 / Kou Hou		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	高 芳 / Kou Hou		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	高 芳 / Kou Hou		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	E(中4)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	gaofang▲sun.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	当日授業の教室で、授業のすぐあと		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1時間/回) 復習: 教科書・プリントの該当箇所を復習すること(1時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト: 楊曉安・高芳『ポイントチェック・初級中国語』(同学社) 辞書: 日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	授業は全回出席することが原則であり、授業への出席が授業回数の3分の2に達していない場合は、期末テストを受けることはできません。遅刻3回は欠席1回の扱いとします。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (Tel) 095-819-2006 (Fax) 095-819-2974 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第9課 『你去哪儿？』（対面） 学習ポイント：疑問詞・存在を表す動詞「有」と「在」・方向や位置を表す語・コラム：中国の十大古都
第2回	第9課 『你去哪儿？』（対面） 学習ポイント：疑問詞・存在を表す動詞「有」と「在」・方向や位置を表す語・コラム：中国の十大古都
第3回	第10課 『你家離學校遠嗎？』（対面） 学習ポイント：介詞「从、到、离」・二重目的語・変化表す「了」・構造助詞「地」・コラム：中国の八大名山
第4回	第10課 『你家離學校遠嗎？』（対面） 学習ポイント：介詞「从、到、离」・二重目的語・変化表す「了」・構造助詞「地」・コラム：中国の八大名山
第5回	第11課 『東京冬天冷不冷？』（対面） 学習ポイント：形容詞述語文・程度副詞・比較の表現・「有点儿」和「一点儿」・コラム：中国の世界遺産
第6回	第11課 『東京冬天冷不冷？』（対面） 学習ポイント：形容詞述語文・程度副詞・比較の表現・「有点儿」和「一点儿」・コラム：中国の世界遺産
第7回	第12課 『媽媽在幹什麼？』（対面） 学習ポイント：アスペクト助詞「着、了、过」・動詞・副詞・介詞（前置詞）の「在」・助動詞「想」「喜欢」「打算」・コラム：中国の一級行政区画
第8回	第12課 『媽媽在幹什麼？』（対面） 学習ポイント：アスペクト助詞「着、了、过」・動詞・副詞・介詞（前置詞）の「在」・助動詞「想」「喜欢」「打算」・コラム：中国の一級行政区画
第9回	第13課 『你會開汽車嗎？』（対面） 学習ポイント：助動詞「会、能、可以」・連動文・時間詞と時量詞・コラム：中国の八大料理
第10回	第13課 『你會開汽車嗎？』（対面） 学習ポイント：助動詞「会、能、可以」・連動文・時間詞と時量詞・コラム：中国の八大料理
第11回	第14課 『你怎麼又吃餃子？』（対面） 学習ポイント：副詞「又」と「再」・選択疑問文・「把」構文・受身の表現・コラム：中国学校教育の制度
第12回	第14課 『你怎麼又吃餃子？』（対面） 学習ポイント：副詞「又」と「再」・選択疑問文・「把」構文・受身の表現・コラム：中国学校教育の制度
第13回	第15課 『今天我買了很多酒』（対面） 学習ポイント：構造助詞「得」・使役文・動詞と前置詞の「给」・原因・方法を問う「怎么」・コラム：中国十大都市
第14回	第15課 『今天我買了很多酒』（対面） 学習ポイント：構造助詞「得」・使役文・動詞と前置詞の「给」・原因・方法を問う「怎么」・コラム：中国十大都市
第15回	総合復習（対面）
第16回	期末試験（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590043004	科目番号 / Course code	05900430
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11219_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (F(中1)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	王 迪 / Di Wang		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	王 迪 / Di Wang		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	王 迪 / Di Wang		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	F(中1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	wd2000jp▲yahoo.co.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業がある日の6時まで		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1時間/回) 復習: 教科書・プリントの該当箇所を復習すること(1時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト: 楊曉安・高芳『ポイントチェック・初級中国語』(同学社) 辞書: 日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	授業は全回出席することが原則であり、授業への出席が授業回数の3分の2に達していない場合は、期末テストを受けることはできません。遅刻3回は欠席1回の扱いとします。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2974 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第9課 『你去哪儿?』 (対面) 学習ポイント: 疑問詞・存在を表す動詞「有」と「在」・方向や位置を表す語・コラム: 中国の十大古都
第2回	第9課 『你去哪儿?』 (対面) 学習ポイント: 疑問詞・存在を表す動詞「有」と「在」・方向や位置を表す語・コラム: 中国の十大古都
第3回	第10課 『你家離學校遠嗎?』 (対面) 学習ポイント: 介詞「从、到、离」・二重目的語・変化表す「了」・構造助詞「地」・コラム: 中国の八大名山
第4回	第10課 『你家離學校遠嗎?』 (対面) 学習ポイント: 介詞「从、到、离」・二重目的語・変化表す「了」・構造助詞「地」・コラム: 中国の八大名山
第5回	第11課 『東京冬天冷不冷?』 (対面) 学習ポイント: 形容詞述語文・程度副詞・比較の表現・「有点儿」和「一点儿」・コラム: 中国の世界遺産
第6回	第11課 『東京冬天冷不冷?』 (対面) 学習ポイント: 形容詞述語文・程度副詞・比較の表現・「有点儿」和「一点儿」・コラム: 中国の世界遺産
第7回	第12課 『媽媽在幹什麼?』 (対面) 学習ポイント: アスペクト助詞「着、了、过」・動詞・副詞・介詞(前置詞)の「在」・助動詞「想」「喜欢」「打算」・コラム: 中国の一級行政区画
第8回	第12課 『媽媽在幹什麼?』 (対面) 学習ポイント: アスペクト助詞「着、了、过」・動詞・副詞・介詞(前置詞)の「在」・助動詞「想」「喜欢」「打算」・コラム: 中国の一級行政区画
第9回	第13課 『你會開汽車嗎?』 (対面) 学習ポイント: 助動詞「会、能、可以」・連動文・時間詞と時量詞・コラム: 中国の八大料理
第10回	第13課 『你會開汽車嗎?』 (対面) 学習ポイント: 助動詞「会、能、可以」・連動文・時間詞と時量詞・コラム: 中国の八大料理
第11回	第14課 『你怎麼又吃餃子?』 (対面) 学習ポイント: 副詞「又」と「再」・選択疑問文・「把」構文・受身の表現・コラム: 中国学校教育の制度
第12回	第14課 『你怎麼又吃餃子?』 (対面) 学習ポイント: 副詞「又」と「再」・選択疑問文・「把」構文・受身の表現・コラム: 中国学校教育の制度
第13回	第15課 『今天我買了很多酒』 (対面) 学習ポイント: 構造助詞「得」・使役文・動詞と前置詞の「给」・原因・方法を問う「怎么」・コラム: 中国十大都市
第14回	第15課 『今天我買了很多酒』 (対面) 学習ポイント: 構造助詞「得」・使役文・動詞と前置詞の「给」・原因・方法を問う「怎么」・コラム: 中国十大都市
第15回	総合復習(対面)
第16回	期末試験(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590043005	科目番号 / Course code	05900430
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11219_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (G1 ~ G3) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	楊 曉安 / Yang Xiaolan		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	楊 曉安 / Yang Xiaolan		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	楊 曉安 / Yang Xiaolan		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	G1 ~ G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	xiaolan▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2166		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日4校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1時間/回) 復習: 教科書・プリントの該当箇所を復習すること(1時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト: 楊曉安・高芳『ポイントチェック・初級中国語』(同学社) 辞書: 日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	授業は全回出席することが原則であり、授業への出席が授業回数の3分の2に達していない場合は、期末テストを受けることはできません。遅刻3回は欠席1回の扱いとします。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (Tel) 095-819-2006 (Fax) 095-819-2974 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第9課 『你去哪儿?』 (対面) 学習ポイント: 疑問詞・存在を表す動詞「有」と「在」・方向や位置を表す語・コラム: 中国の十大古都
第2回	第9課 『你去哪儿?』 (対面) 学習ポイント: 疑問詞・存在を表す動詞「有」と「在」・方向や位置を表す語・コラム: 中国の十大古都
第3回	第10課 『你家離學校遠嗎?』 (対面) 学習ポイント: 介詞「从、到、离」・二重目的語・変化表す「了」・構造助詞「地」・コラム: 中国の八大名山
第4回	第10課 『你家離學校遠嗎?』 (対面) 学習ポイント: 介詞「从、到、离」・二重目的語・変化表す「了」・構造助詞「地」・コラム: 中国の八大名山
第5回	第11課 『東京冬天冷不冷?』 (対面) 学習ポイント: 形容詞述語文・程度副詞・比較の表現・「有点儿」和「一点儿」・コラム: 中国の世界遺産
第6回	第11課 『東京冬天冷不冷?』 (対面) 学習ポイント: 形容詞述語文・程度副詞・比較の表現・「有点儿」和「一点儿」・コラム: 中国の世界遺産
第7回	第12課 『媽媽在幹什麼?』 (対面) 学習ポイント: アスペクト助詞「着、了、过」・動詞・副詞・介詞(前置詞)の「在」・助動詞「想」「喜欢」「打算」・コラム: 中国の一級行政区画
第8回	第12課 『媽媽在幹什麼?』 (対面) 学習ポイント: アスペクト助詞「着、了、过」・動詞・副詞・介詞(前置詞)の「在」・助動詞「想」「喜欢」「打算」・コラム: 中国の一級行政区画
第9回	第13課 『你會開汽車嗎?』 (対面) 学習ポイント: 助動詞「会、能、可以」・連動文・時間詞と時量詞・コラム: 中国の八大料理
第10回	第13課 『你會開汽車嗎?』 (対面) 学習ポイント: 助動詞「会、能、可以」・連動文・時間詞と時量詞・コラム: 中国の八大料理
第11回	第14課 『你怎麼又吃餃子?』 (対面) 学習ポイント: 副詞「又」と「再」・選択疑問文・「把」構文・受身の表現・コラム: 中国学校教育の制度
第12回	第14課 『你怎麼又吃餃子?』 (対面) 学習ポイント: 副詞「又」と「再」・選択疑問文・「把」構文・受身の表現・コラム: 中国学校教育の制度
第13回	第15課 『今天我買了很多酒』 (対面) 学習ポイント: 構造助詞「得」・使役文・動詞と前置詞の「给」・原因・方法を問う「怎么」・コラム: 中国十大都市
第14回	第15課 『今天我買了很多酒』 (対面) 学習ポイント: 構造助詞「得」・使役文・動詞と前置詞の「给」・原因・方法を問う「怎么」・コラム: 中国十大都市
第15回	総合復習(対面)
第16回	期末試験(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590043006	科目番号 / Course code	05900430
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11219_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (E(中3)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	王 迪 / Di Wang		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	王 迪 / Di Wang		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	王 迪 / Di Wang		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	E(中3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	wd2000jp▲yahoo.co.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業がある日の6時まで		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1時間/回) 復習：教科書・プリントの該当箇所を復習すること(1時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト：楊曉安・高芳『ポイントチェック・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	授業は全回出席することが原則であり、授業への出席が授業回数の3分の2に達していない場合は、期末テストを受けることはできません。遅刻3回は欠席1回の扱いとします。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (Tel) 095-819-2006 (Fax) 095-819-2974 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第9課 『你去哪儿?』 (対面) 学習ポイント: 疑問詞・存在を表す動詞「有」と「在」・方向や位置を表す語・コラム: 中国の十大古都
第2回	第9課 『你去哪儿?』 (対面) 学習ポイント: 疑問詞・存在を表す動詞「有」と「在」・方向や位置を表す語・コラム: 中国の十大古都
第3回	第10課 『你家離學校遠嗎?』 (対面) 学習ポイント: 介詞「从、到、离」・二重目的語・変化表す「了」・構造助詞「地」・コラム: 中国の八大名山
第4回	第10課 『你家離學校遠嗎?』 (対面) 学習ポイント: 介詞「从、到、离」・二重目的語・変化表す「了」・構造助詞「地」・コラム: 中国の八大名山
第5回	第11課 『東京冬天冷不冷?』 (対面) 学習ポイント: 形容詞述語文・程度副詞・比較の表現・「有点儿」和「一点儿」・コラム: 中国の世界遺産
第6回	第11課 『東京冬天冷不冷?』 (対面) 学習ポイント: 形容詞述語文・程度副詞・比較の表現・「有点儿」和「一点儿」・コラム: 中国の世界遺産
第7回	第12課 『媽媽在幹什麼?』 (対面) 学習ポイント: アスペクト助詞「着、了、过」・動詞・副詞・介詞(前置詞)の「在」・助動詞「想」「喜欢」「打算」・コラム: 中国の一級行政区画
第8回	第12課 『媽媽在幹什麼?』 (対面) 学習ポイント: アスペクト助詞「着、了、过」・動詞・副詞・介詞(前置詞)の「在」・助動詞「想」「喜欢」「打算」・コラム: 中国の一級行政区画
第9回	第13課 『你會開汽車嗎?』 (対面) 学習ポイント: 助動詞「会、能、可以」・連動文・時間詞と時量詞・コラム: 中国の八大料理
第10回	第13課 『你會開汽車嗎?』 (対面) 学習ポイント: 助動詞「会、能、可以」・連動文・時間詞と時量詞・コラム: 中国の八大料理
第11回	第14課 『你怎麼又吃餃子?』 (対面) 学習ポイント: 副詞「又」と「再」・選択疑問文・「把」構文・受身の表現・コラム: 中国学校教育の制度
第12回	第14課 『你怎麼又吃餃子?』 (対面) 学習ポイント: 副詞「又」と「再」・選択疑問文・「把」構文・受身の表現・コラム: 中国学校教育の制度
第13回	第15課 『今天我買了很多酒』 (対面) 学習ポイント: 構造助詞「得」・使役文・動詞と前置詞の「给」・原因・方法を問う「怎么」・コラム: 中国十大都市
第14回	第15課 『今天我買了很多酒』 (対面) 学習ポイント: 構造助詞「得」・使役文・動詞と前置詞の「给」・原因・方法を問う「怎么」・コラム: 中国十大都市
第15回	総合復習(対面)
第16回	期末試験(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590043007	科目番号 / Course code	05900430
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11219_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (E(中1)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	王 迪 / Di Wang		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	王 迪 / Di Wang		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	王 迪 / Di Wang		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	E(中1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	wd2000jp▲yahoo.co.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業がある日の6時まで		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1時間/回) 復習: 教科書・プリントの該当箇所を復習すること(1時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト: 楊曉安・高芳『ポイントチェック・初級中国語』(同学社) 辞書: 日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	授業は全回出席することが原則であり、授業への出席が授業回数の3分の2に達していない場合は、期末テストを受けることはできません。遅刻3回は欠席1回の扱いとします。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (Tel) 095-819-2006 (Fax) 095-819-2974 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第9課 『你去哪儿？』（対面） 学習ポイント：疑問詞・存在を表す動詞「有」と「在」・方向や位置を表す語・コラム：中国の十大古都
第2回	第9課 『你去哪儿？』（対面） 学習ポイント：疑問詞・存在を表す動詞「有」と「在」・方向や位置を表す語・コラム：中国の十大古都
第3回	第10課 『你家離學校遠嗎？』（対面） 学習ポイント：介詞「从、到、离」・二重目的語・変化表す「了」・構造助詞「地」・コラム：中国の八大名山
第4回	第10課 『你家離學校遠嗎？』（対面） 学習ポイント：介詞「从、到、离」・二重目的語・変化表す「了」・構造助詞「地」・コラム：中国の八大名山
第5回	第11課 『東京冬天冷不冷？』（対面） 学習ポイント：形容詞述語文・程度副詞・比較の表現・「有点儿」和「一点儿」・コラム：中国の世界遺産
第6回	第11課 『東京冬天冷不冷？』（対面） 学習ポイント：形容詞述語文・程度副詞・比較の表現・「有点儿」和「一点儿」・コラム：中国の世界遺産
第7回	第12課 『媽媽在幹什麼？』（対面） 学習ポイント：アスペクト助詞「着、了、过」・動詞・副詞・介詞（前置詞）の「在」・助動詞「想」「喜欢」「打算」・コラム：中国の一級行政区画
第8回	第12課 『媽媽在幹什麼？』（対面） 学習ポイント：アスペクト助詞「着、了、过」・動詞・副詞・介詞（前置詞）の「在」・助動詞「想」「喜欢」「打算」・コラム：中国の一級行政区画
第9回	第13課 『你會開汽車嗎？』（対面） 学習ポイント：助動詞「会、能、可以」・連動文・時間詞と時量詞・コラム：中国の八大料理
第10回	第13課 『你會開汽車嗎？』（対面） 学習ポイント：助動詞「会、能、可以」・連動文・時間詞と時量詞・コラム：中国の八大料理
第11回	第14課 『你怎麼又吃餃子？』（対面） 学習ポイント：副詞「又」と「再」・選択疑問文・「把」構文・受身の表現・コラム：中国学校教育の制度
第12回	第14課 『你怎麼又吃餃子？』（対面） 学習ポイント：副詞「又」と「再」・選択疑問文・「把」構文・受身の表現・コラム：中国学校教育の制度
第13回	第15課 『今天我買了很多酒』（対面） 学習ポイント：構造助詞「得」・使役文・動詞と前置詞の「给」・原因・方法を問う「怎么」・コラム：中国十大都市
第14回	第15課 『今天我買了很多酒』（対面） 学習ポイント：構造助詞「得」・使役文・動詞と前置詞の「给」・原因・方法を問う「怎么」・コラム：中国十大都市
第15回	総合復習（対面）
第16回	期末試験（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590043008	科目番号 / Course code	05900430
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11219_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (L(中1)_J(中2)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	周 国強 / Syu Kokkyo		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	周 国強 / Syu Kokkyo		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	周 国強 / Syu Kokkyo		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	L(中1)_J(中2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	zgg▲sun.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 12:00 ~ 13:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1時間/回) 復習: 教科書・プリントの該当箇所を復習すること(1時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト: 楊曉安・高芳『ポイントチェック・初級中国語』(同学社) 辞書: 日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	授業は全回出席することが原則であり、授業への出席が授業回数の3分の2に達していない場合は、期末テストを受けることはできません。遅刻3回は欠席1回の扱いとします。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (Tel) 095-819-2006 (Fax) 095-819-2974 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第9課 『你去哪儿？』（対面） 学習ポイント：疑問詞・存在を表す動詞「有」と「在」・方向や位置を表す語・コラム：中国の十大古都
第2回	第9課 『你去哪儿？』（対面） 学習ポイント：疑問詞・存在を表す動詞「有」と「在」・方向や位置を表す語・コラム：中国の十大古都
第3回	第10課 『你家離學校遠嗎？』（対面） 学習ポイント：介詞「从、到、离」・二重目的語・変化表す「了」・構造助詞「地」・コラム：中国の八大名山
第4回	第10課 『你家離學校遠嗎？』（対面） 学習ポイント：介詞「从、到、离」・二重目的語・変化表す「了」・構造助詞「地」・コラム：中国の八大名山
第5回	第11課 『東京冬天冷不冷？』（対面） 学習ポイント：形容詞述語文・程度副詞・比較の表現・「有点儿」和「一点儿」・コラム：中国の世界遺産
第6回	第11課 『東京冬天冷不冷？』（対面） 学習ポイント：形容詞述語文・程度副詞・比較の表現・「有点儿」和「一点儿」・コラム：中国の世界遺産
第7回	第12課 『媽媽在幹什麼？』（対面） 学習ポイント：アスペクト助詞「着、了、过」・動詞・副詞・介詞（前置詞）の「在」・助動詞「想」「喜欢」「打算」・コラム：中国の一級行政区画
第8回	第12課 『媽媽在幹什麼？』（対面） 学習ポイント：アスペクト助詞「着、了、过」・動詞・副詞・介詞（前置詞）の「在」・助動詞「想」「喜欢」「打算」・コラム：中国の一級行政区画
第9回	第13課 『你會開汽車嗎？』（対面） 学習ポイント：助動詞「会、能、可以」・連動文・時間詞と時量詞・コラム：中国の八大料理
第10回	第13課 『你會開汽車嗎？』（対面） 学習ポイント：助動詞「会、能、可以」・連動文・時間詞と時量詞・コラム：中国の八大料理
第11回	第14課 『你怎麼又吃餃子？』（対面） 学習ポイント：副詞「又」と「再」・選択疑問文・「把」構文・受身の表現・コラム：中国学校教育の制度
第12回	第14課 『你怎麼又吃餃子？』（対面） 学習ポイント：副詞「又」と「再」・選択疑問文・「把」構文・受身の表現・コラム：中国学校教育の制度
第13回	第15課 『今天我買了很多酒』（対面） 学習ポイント：構造助詞「得」・使役文・動詞と前置詞の「给」・原因・方法を問う「怎么」・コラム：中国十大都市
第14回	第15課 『今天我買了很多酒』（対面） 学習ポイント：構造助詞「得」・使役文・動詞と前置詞の「给」・原因・方法を問う「怎么」・コラム：中国十大都市
第15回	総合復習（対面）
第16回	期末試験（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590043009	科目番号 / Course code	05900430
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11219_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (T(中5)_K(中1)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	祁 建民 / Ki Kenmin		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	祁 建民 / Ki Kenmin		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	祁 建民 / Ki Kenmin		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	T(中5)_K(中1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	qjmjp▲sun.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務局)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日3時限		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1時間/回) 復習: 教科書・プリントの該当箇所を復習すること(1時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト: 楊曉安・高芳『ポイントチェック・初級中国語』(同学社) 辞書: 日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	授業は全回出席することが原則であり、授業への出席が授業回数の3分の2に達していない場合は、期末テストを受けることはできません。遅刻3回は欠席1回の扱いとします。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2974 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第9課 『你去哪儿?』 (対面) 学習ポイント: 疑問詞・存在を表す動詞「有」と「在」・方向や位置を表す語・コラム: 中国の十大古都
第2回	第9課 『你去哪儿?』 (対面) 学習ポイント: 疑問詞・存在を表す動詞「有」と「在」・方向や位置を表す語・コラム: 中国の十大古都
第3回	第10課 『你家離學校遠嗎?』 (対面) 学習ポイント: 介詞「从、到、离」・二重目的語・変化表す「了」・構造助詞「地」・コラム: 中国の八大名山
第4回	第10課 『你家離學校遠嗎?』 (対面) 学習ポイント: 介詞「从、到、离」・二重目的語・変化表す「了」・構造助詞「地」・コラム: 中国の八大名山
第5回	第11課 『東京冬天冷不冷?』 (対面) 学習ポイント: 形容詞述語文・程度副詞・比較の表現・「有点儿」和「一点儿」・コラム: 中国の世界遺産
第6回	第11課 『東京冬天冷不冷?』 (対面) 学習ポイント: 形容詞述語文・程度副詞・比較の表現・「有点儿」和「一点儿」・コラム: 中国の世界遺産
第7回	第12課 『媽媽在幹什麼?』 (対面) 学習ポイント: アスペクト助詞「着、了、过」・動詞・副詞・介詞(前置詞)の「在」・助動詞「想」「喜欢」「打算」・コラム: 中国の一級行政区画
第8回	第12課 『媽媽在幹什麼?』 (対面) 学習ポイント: アスペクト助詞「着、了、过」・動詞・副詞・介詞(前置詞)の「在」・助動詞「想」「喜欢」「打算」・コラム: 中国の一級行政区画
第9回	第13課 『你會開汽車嗎?』 (対面) 学習ポイント: 助動詞「会、能、可以」・連動文・時間詞と時量詞・コラム: 中国の八大料理
第10回	第13課 『你會開汽車嗎?』 (対面) 学習ポイント: 助動詞「会、能、可以」・連動文・時間詞と時量詞・コラム: 中国の八大料理
第11回	第14課 『你怎麼又吃餃子?』 (対面) 学習ポイント: 副詞「又」と「再」・選択疑問文・「把」構文・受身の表現・コラム: 中国学校教育の制度
第12回	第14課 『你怎麼又吃餃子?』 (対面) 学習ポイント: 副詞「又」と「再」・選択疑問文・「把」構文・受身の表現・コラム: 中国学校教育の制度
第13回	第15課 『今天我買了很多酒』 (対面) 学習ポイント: 構造助詞「得」・使役文・動詞と前置詞の「给」・原因・方法を問う「怎么」・コラム: 中国十大都市
第14回	第15課 『今天我買了很多酒』 (対面) 学習ポイント: 構造助詞「得」・使役文・動詞と前置詞の「给」・原因・方法を問う「怎么」・コラム: 中国十大都市
第15回	総合復習(対面)
第16回	期末試験(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590043010	科目番号 / Course code	05900430
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11219_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (E(中2)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	周 国強 / Syu Kokkyo		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	周 国強 / Syu Kokkyo		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	周 国強 / Syu Kokkyo		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	E(中2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	zgg▲sun.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 12:00 ~ 13:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1時間/回) 復習: 教科書・プリントの該当箇所を復習すること(1時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト: 楊曉安・高芳『ポイントチェック・初級中国語』(同学社) 辞書: 日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	授業は全回出席することが原則であり、授業への出席が授業回数の3分の2に達していない場合は、期末テストを受けることはできません。遅刻3回は欠席1回の扱いとします。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (Tel) 095-819-2006 (Fax) 095-819-2974 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第9課 『你去哪儿?』 (対面) 学習ポイント: 疑問詞・存在を表す動詞「有」と「在」・方向や位置を表す語・コラム: 中国の十大古都
第2回	第9課 『你去哪儿?』 (対面) 学習ポイント: 疑問詞・存在を表す動詞「有」と「在」・方向や位置を表す語・コラム: 中国の十大古都
第3回	第10課 『你家離學校遠嗎?』 (対面) 学習ポイント: 介詞「从、到、离」・二重目的語・変化表す「了」・構造助詞「地」・コラム: 中国の八大名山
第4回	第10課 『你家離學校遠嗎?』 (対面) 学習ポイント: 介詞「从、到、离」・二重目的語・変化表す「了」・構造助詞「地」・コラム: 中国の八大名山
第5回	第11課 『東京冬天冷不冷?』 (対面) 学習ポイント: 形容詞述語文・程度副詞・比較の表現・「有点儿」和「一点儿」・コラム: 中国の世界遺産
第6回	第11課 『東京冬天冷不冷?』 (対面) 学習ポイント: 形容詞述語文・程度副詞・比較の表現・「有点儿」和「一点儿」・コラム: 中国の世界遺産
第7回	第12課 『媽媽在幹什麼?』 (対面) 学習ポイント: アスペクト助詞「着、了、过」・動詞・副詞・介詞(前置詞)の「在」・助動詞「想」「喜欢」「打算」・コラム: 中国の一級行政区画
第8回	第12課 『媽媽在幹什麼?』 (対面) 学習ポイント: アスペクト助詞「着、了、过」・動詞・副詞・介詞(前置詞)の「在」・助動詞「想」「喜欢」「打算」・コラム: 中国の一級行政区画
第9回	第13課 『你會開汽車嗎?』 (対面) 学習ポイント: 助動詞「会、能、可以」・連動文・時間詞と時量詞・コラム: 中国の八大料理
第10回	第13課 『你會開汽車嗎?』 (対面) 学習ポイント: 助動詞「会、能、可以」・連動文・時間詞と時量詞・コラム: 中国の八大料理
第11回	第14課 『你怎麼又吃餃子?』 (対面) 学習ポイント: 副詞「又」と「再」・選択疑問文・「把」構文・受身の表現・コラム: 中国学校教育の制度
第12回	第14課 『你怎麼又吃餃子?』 (対面) 学習ポイント: 副詞「又」と「再」・選択疑問文・「把」構文・受身の表現・コラム: 中国学校教育の制度
第13回	第15課 『今天我買了很多酒』 (対面) 学習ポイント: 構造助詞「得」・使役文・動詞と前置詞の「给」・原因・方法を問う「怎么」・コラム: 中国十大都市
第14回	第15課 『今天我買了很多酒』 (対面) 学習ポイント: 構造助詞「得」・使役文・動詞と前置詞の「给」・原因・方法を問う「怎么」・コラム: 中国十大都市
第15回	総合復習(対面)
第16回	期末試験(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590043011	科目番号 / Course code	05900430
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11219_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (F(中2)_D1・D2) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	祁 建民 / Ki Kenmin		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	祁 建民 / Ki Kenmin		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	祁 建民 / Ki Kenmin		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	F(中2)_D1・D2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	qjmjp▲sun.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日3時限		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1時間/回) 復習: 教科書・プリントの該当箇所を復習すること(1時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト: 楊曉安・高芳『ポイントチェック・初級中国語』(同学社) 辞書: 日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	授業は全回出席することが原則であり、授業への出席が授業回数の3分の2に達していない場合は、期末テストを受けることはできません。遅刻3回は欠席1回の扱いとします。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2974 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第9課 『你去哪儿？』 （対面） 学習ポイント：疑問詞・存在を表す動詞「有」と「在」・方向や位置を表す語・コラム：中国の十大古都
第2回	第9課 『你去哪儿？』 （対面） 学習ポイント：疑問詞・存在を表す動詞「有」と「在」・方向や位置を表す語・コラム：中国の十大古都
第3回	第10課 『你家離學校遠嗎？』 （対面） 学習ポイント：介詞“从、到、离”・二重目的語・変化表す“了”・構造助詞“地”・コラム：中国の八大名山
第4回	第10課 『你家離學校遠嗎？』 （対面） 学習ポイント：介詞“从、到、离”・二重目的語・変化表す“了”・構造助詞“地”・コラム：中国の八大名山
第5回	第11課 『東京冬天冷不冷？』 （対面） 学習ポイント：形容詞述語文・程度副詞・比較の表現・“有点儿”和“一点儿”・コラム：中国の世界遺産
第6回	第11課 『東京冬天冷不冷？』 （対面） 学習ポイント：形容詞述語文・程度副詞・比較の表現・“有点儿”和“一点儿”・コラム：中国の世界遺産
第7回	第12課 『媽媽在幹什麼？』 （対面） 学習ポイント：アスペクト助詞「着、了、过」・動詞・副詞・介詞（前置詞）の「在」・助動詞「想」「喜欢」「打算」・コラム：中国の一級行政区画
第8回	第12課 『媽媽在幹什麼？』 （対面） 学習ポイント：アスペクト助詞「着、了、过」・動詞・副詞・介詞（前置詞）の「在」・助動詞「想」「喜欢」「打算」・コラム：中国の一級行政区画
第9回	第13課 『你會開汽車嗎？』 （対面） 学習ポイント：助動詞「会、能、可以」・連動文・時間詞と時量詞・コラム：中国の八大料理
第10回	第13課 『你會開汽車嗎？』 （対面） 学習ポイント：助動詞「会、能、可以」・連動文・時間詞と時量詞・コラム：中国の八大料理
第11回	第14課 『你怎麼又吃餃子？』 （対面） 学習ポイント：副詞「又」と「再」・選択疑問文・「把」構文・受身の表現・コラム：中国学校教育の制度
第12回	第14課 『你怎麼又吃餃子？』 （対面） 学習ポイント：副詞「又」と「再」・選択疑問文・「把」構文・受身の表現・コラム：中国学校教育の制度
第13回	第15課 『今天我買了很多酒』 （対面） 学習ポイント：構造助詞“得”・使役文・動詞と前置詞の「给」・原因・方法を問う「怎么」・コラム：中国十大都市
第14回	第15課 『今天我買了很多酒』 （対面） 学習ポイント：構造助詞“得”・使役文・動詞と前置詞の「给」・原因・方法を問う「怎么」・コラム：中国十大都市
第15回	総合復習（対面）
第16回	期末試験（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590043012	科目番号 / Course code	05900430
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11219_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (K(中2)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	笹田 和子 / Sasada Kazuko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	笹田 和子 / Sasada Kazuko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	笹田 和子 / Sasada Kazuko		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	K(中2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sasadakazuko▲yahoo.co.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1時間/回) 復習：教科書・プリントの該当箇所を復習すること(1時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト：楊曉安・高芳『ポイントチェック・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	授業は全回出席することが原則であり、授業への出席が授業回数の3分の2に達していない場合は、期末テストを受けることはできません。遅刻3回は欠席1回の扱いとします。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (Tel) 095-819-2006 (Fax) 095-819-2974 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第9課 『你去哪儿?』 (対面) 学習ポイント: 疑問詞・存在を表す動詞「有」と「在」・方向や位置を表す語・コラム: 中国の十大古都
第2回	第9課 『你去哪儿?』 (対面) 学習ポイント: 疑問詞・存在を表す動詞「有」と「在」・方向や位置を表す語・コラム: 中国の十大古都
第3回	第10課 『你家離學校遠嗎?』 (対面) 学習ポイント: 介詞「从、到、离」・二重目的語・変化表す「了」・構造助詞「地」・コラム: 中国の八大名山
第4回	第10課 『你家離學校遠嗎?』 (対面) 学習ポイント: 介詞「从、到、离」・二重目的語・変化表す「了」・構造助詞「地」・コラム: 中国の八大名山
第5回	第11課 『東京冬天冷不冷?』 (対面) 学習ポイント: 形容詞述語文・程度副詞・比較の表現・「有点儿」和「一点儿」・コラム: 中国の世界遺産
第6回	第11課 『東京冬天冷不冷?』 (対面) 学習ポイント: 形容詞述語文・程度副詞・比較の表現・「有点儿」和「一点儿」・コラム: 中国の世界遺産
第7回	第12課 『媽媽在幹什麼?』 (対面) 学習ポイント: アスペクト助詞「着、了、过」・動詞・副詞・介詞(前置詞)の「在」・助動詞「想」「喜欢」「打算」・コラム: 中国の一級行政区画
第8回	第12課 『媽媽在幹什麼?』 (対面) 学習ポイント: アスペクト助詞「着、了、过」・動詞・副詞・介詞(前置詞)の「在」・助動詞「想」「喜欢」「打算」・コラム: 中国の一級行政区画
第9回	第13課 『你會開汽車嗎?』 (対面) 学習ポイント: 助動詞「会、能、可以」・連動文・時間詞と時量詞・コラム: 中国の八大料理
第10回	第13課 『你會開汽車嗎?』 (対面) 学習ポイント: 助動詞「会、能、可以」・連動文・時間詞と時量詞・コラム: 中国の八大料理
第11回	第14課 『你怎麼又吃餃子?』 (対面) 学習ポイント: 副詞「又」と「再」・選択疑問文・「把」構文・受身の表現・コラム: 中国学校教育の制度
第12回	第14課 『你怎麼又吃餃子?』 (対面) 学習ポイント: 副詞「又」と「再」・選択疑問文・「把」構文・受身の表現・コラム: 中国学校教育の制度
第13回	第15課 『今天我買了很多酒』 (対面) 学習ポイント: 構造助詞「得」・使役文・動詞と前置詞の「给」・原因・方法を問う「怎么」・コラム: 中国十大都市
第14回	第15課 『今天我買了很多酒』 (対面) 学習ポイント: 構造助詞「得」・使役文・動詞と前置詞の「给」・原因・方法を問う「怎么」・コラム: 中国十大都市
第15回	総合復習(対面)
第16回	期末試験(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590043013	科目番号 / Course code	05900430
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11219_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (J(中1)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	笹田 和子 / Sasada Kazuko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	笹田 和子 / Sasada Kazuko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	笹田 和子 / Sasada Kazuko		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	J(中1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sasadakazuko▲yahoo.co.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1時間/回) 復習：教科書・プリントの該当箇所を復習すること(1時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト：楊曉安・高芳『ポイントチェック・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	授業は全回出席することが原則であり、授業への出席が授業回数の3分の2に達していない場合は、期末テストを受けることはできません。遅刻3回は欠席1回の扱いとします。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (Tel) 095-819-2006 (Fax) 095-819-2974 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第9課 『你去哪儿?』 (対面) 学習ポイント: 疑問詞・存在を表す動詞「有」と「在」・方向や位置を表す語・コラム: 中国の十大古都
第2回	第9課 『你去哪儿?』 (対面) 学習ポイント: 疑問詞・存在を表す動詞「有」と「在」・方向や位置を表す語・コラム: 中国の十大古都
第3回	第10課 『你家離學校遠嗎?』 (対面) 学習ポイント: 介詞「从、到、离」・二重目的語・変化表す「了」・構造助詞「地」・コラム: 中国の八大名山
第4回	第10課 『你家離學校遠嗎?』 (対面) 学習ポイント: 介詞「从、到、离」・二重目的語・変化表す「了」・構造助詞「地」・コラム: 中国の八大名山
第5回	第11課 『東京冬天冷不冷?』 (対面) 学習ポイント: 形容詞述語文・程度副詞・比較の表現・「有点儿」和「一点儿」・コラム: 中国の世界遺産
第6回	第11課 『東京冬天冷不冷?』 学習ポイント: 形容詞述語文・程度副詞・比較の表現・「有点儿」和「一点儿」・コラム: 中国の世界遺産
第7回	第12課 『媽媽在幹什麼?』 (対面) 学習ポイント: アスペクト助詞「着、了、过」・動詞・副詞・介詞(前置詞)の「在」・助動詞「想」「喜欢」「打算」・コラム: 中国の一級行政区画
第8回	第12課 『媽媽在幹什麼?』 (対面) 学習ポイント: アスペクト助詞「着、了、过」・動詞・副詞・介詞(前置詞)の「在」・助動詞「想」「喜欢」「打算」・コラム: 中国の一級行政区画
第9回	第13課 『你會開汽車嗎?』 (対面) 学習ポイント: 助動詞「会、能、可以」・連動文・時間詞と時量詞・コラム: 中国の八大料理
第10回	第13課 『你會開汽車嗎?』 (対面) 学習ポイント: 助動詞「会、能、可以」・連動文・時間詞と時量詞・コラム: 中国の八大料理
第11回	第14課 『你怎麼又吃餃子?』 (対面) 学習ポイント: 副詞「又」と「再」・選択疑問文・「把」構文・受身の表現・コラム: 中国学校教育の制度
第12回	第14課 『你怎麼又吃餃子?』 (対面) 学習ポイント: 副詞「又」と「再」・選択疑問文・「把」構文・受身の表現・コラム: 中国学校教育の制度
第13回	第15課 『今天我買了很多酒』 (対面) 学習ポイント: 構造助詞「得」・使役文・動詞と前置詞の「给」・原因・方法を問う「怎么」・コラム: 中国十大都市
第14回	第15課 『今天我買了很多酒』 (対面) 学習ポイント: 構造助詞「得」・使役文・動詞と前置詞の「给」・原因・方法を問う「怎么」・コラム: 中国十大都市
第15回	総合復習(対面)
第16回	期末試験(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590043014	科目番号 / Course code	05900430
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11219_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (T(中1)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 愛莉 / Ryu Airi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 愛莉 / Ryu Airi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 愛莉 / Ryu Airi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	T(中1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kym_ar▲hotmail.com (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業曜日12:00~12:40		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1時間/回) 復習: 教科書・プリントの該当箇所を復習すること(1時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト: 楊曉安・高芳『ポイントチェック・初級中国語』(同学社) 辞書: 日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	授業は全回出席することが原則であり、授業への出席が授業回数の3分の2に達していない場合は、期末テストを受けることはできません。遅刻3回は欠席1回の扱いとします。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (Tel) 095-819-2006 (Fax) 095-819-2974 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第9課 『你去哪儿?』 (対面) 学習ポイント: 疑問詞・存在を表す動詞「有」と「在」・方向や位置を表す語・コラム: 中国の十大古都
第2回	第9課 『你去哪儿?』 (対面) 学習ポイント: 疑問詞・存在を表す動詞「有」と「在」・方向や位置を表す語・コラム: 中国の十大古都
第3回	第10課 『你家離學校遠嗎?』 (対面) 学習ポイント: 介詞「从、到、离」・二重目的語・変化表す「了」・構造助詞「地」・コラム: 中国の八大名山
第4回	第10課 『你家離學校遠嗎?』 (対面) 学習ポイント: 介詞「从、到、离」・二重目的語・変化表す「了」・構造助詞「地」・コラム: 中国の八大名山
第5回	第11課 『東京冬天冷不冷?』 (対面) 学習ポイント: 形容詞述語文・程度副詞・比較の表現・「有点儿」和「一点儿」・コラム: 中国の世界遺産
第6回	第11課 『東京冬天冷不冷?』 (対面) 学習ポイント: 形容詞述語文・程度副詞・比較の表現・「有点儿」和「一点儿」・コラム: 中国の世界遺産
第7回	第12課 『媽媽在幹什麼?』 (対面) 学習ポイント: アスペクト助詞「着、了、过」・動詞・副詞・介詞(前置詞)の「在」・助動詞「想」「喜欢」「打算」・コラム: 中国の一級行政区画
第8回	第12課 『媽媽在幹什麼?』 (対面) 学習ポイント: アスペクト助詞「着、了、过」・動詞・副詞・介詞(前置詞)の「在」・助動詞「想」「喜欢」「打算」・コラム: 中国の一級行政区画
第9回	第13課 『你會開汽車嗎?』 (対面) 学習ポイント: 助動詞「会、能、可以」・連動文・時間詞と時量詞・コラム: 中国の八大料理
第10回	第13課 『你會開汽車嗎?』 (対面) 学習ポイント: 助動詞「会、能、可以」・連動文・時間詞と時量詞・コラム: 中国の八大料理
第11回	第14課 『你怎麼又吃餃子?』 (対面) 学習ポイント: 副詞「又」と「再」・選択疑問文・「把」構文・受身の表現・コラム: 中国学校教育の制度
第12回	第14課 『你怎麼又吃餃子?』 (対面) 学習ポイント: 副詞「又」と「再」・選択疑問文・「把」構文・受身の表現・コラム: 中国学校教育の制度
第13回	第15課 『今天我買了很多酒』 (対面) 学習ポイント: 構造助詞「得」・使役文・動詞と前置詞の「给」・原因・方法を問う「怎么」・コラム: 中国十大都市
第14回	第15課 『今天我買了很多酒』 (対面) 学習ポイント: 構造助詞「得」・使役文・動詞と前置詞の「给」・原因・方法を問う「怎么」・コラム: 中国十大都市
第15回	総合復習(対面)
第16回	期末試験(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590043015	科目番号 / Course code	05900430
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11219_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (T(中4)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 愛莉 / Ryu Airi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 愛莉 / Ryu Airi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 愛莉 / Ryu Airi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	T(中4)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kym_ar▲hotmail.com (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業曜日12:00~12:40		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1時間/回) 復習: 教科書・プリントの該当箇所を復習すること(1時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト: 楊曉安・高芳『ポイントチェック・初級中国語』(同学社) 辞書: 日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	授業は全回出席することが原則であり、授業への出席が授業回数の3分の2に達していない場合は、期末テストを受けることはできません。遅刻3回は欠席1回の扱いとします。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (Tel) 095-819-2006 (Fax) 095-819-2974 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第9課 『你去哪儿？』（対面） 学習ポイント：疑問詞・存在を表す動詞「有」と「在」・方向や位置を表す語・コラム：中国の十大古都
第2回	第9課 『你去哪儿？』（対面） 学習ポイント：疑問詞・存在を表す動詞「有」と「在」・方向や位置を表す語・コラム：中国の十大古都
第3回	第10課 『你家離學校遠嗎？』（対面） 学習ポイント：介詞「从、到、离」・二重目的語・変化表す「了」・構造助詞「地」・コラム：中国の八大名山
第4回	第10課 『你家離學校遠嗎？』（対面） 学習ポイント：介詞「从、到、离」・二重目的語・変化表す「了」・構造助詞「地」・コラム：中国の八大名山
第5回	第11課 『東京冬天冷不冷？』（対面） 学習ポイント：形容詞述語文・程度副詞・比較の表現・「有点儿」和「一点儿」・コラム：中国の世界遺産
第6回	第11課 『東京冬天冷不冷？』（対面） 学習ポイント：形容詞述語文・程度副詞・比較の表現・「有点儿」和「一点儿」・コラム：中国の世界遺産
第7回	第12課 『媽媽在幹什麼？』（対面） 学習ポイント：アスペクト助詞「着、了、过」・動詞・副詞・介詞（前置詞）の「在」・助動詞「想」「喜欢」「打算」・コラム：中国の一級行政区画
第8回	第12課 『媽媽在幹什麼？』（対面） 学習ポイント：アスペクト助詞「着、了、过」・動詞・副詞・介詞（前置詞）の「在」・助動詞「想」「喜欢」「打算」・コラム：中国の一級行政区画
第9回	第13課 『你會開汽車嗎？』（対面） 学習ポイント：助動詞「会、能、可以」・連動文・時間詞と時量詞・コラム：中国の八大料理
第10回	第13課 『你會開汽車嗎？』（対面） 学習ポイント：助動詞「会、能、可以」・連動文・時間詞と時量詞・コラム：中国の八大料理
第11回	第14課 『你怎麼又吃餃子？』（対面） 学習ポイント：副詞「又」と「再」・選択疑問文・「把」構文・受身の表現・コラム：中国学校教育の制度
第12回	第14課 『你怎麼又吃餃子？』（対面） 学習ポイント：副詞「又」と「再」・選択疑問文・「把」構文・受身の表現・コラム：中国学校教育の制度
第13回	第15課 『今天我買了很多酒』（対面） 学習ポイント：構造助詞「得」・使役文・動詞と前置詞の「给」・原因・方法を問う「怎么」・コラム：中国十大都市
第14回	第15課 『今天我買了很多酒』（対面） 学習ポイント：構造助詞「得」・使役文・動詞と前置詞の「给」・原因・方法を問う「怎么」・コラム：中国十大都市
第15回	総合復習（対面）
第16回	期末試験（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590043016	科目番号 / Course code	05900430
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11219_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (M1 ~ M3) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 愛莉 / Ryu Airi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 愛莉 / Ryu Airi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 愛莉 / Ryu Airi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	M1 ~ M3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kym_ar▲hotmail.com (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業曜日12:00 ~ 12:40		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1時間/回) 復習: 教科書・プリントの該当箇所を復習すること(1時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト: 楊曉安・高芳『ポイントチェック・初級中国語』(同学社) 辞書: 日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	授業は全回出席することが原則であり、授業への出席が授業回数の3分の2に達していない場合は、期末テストを受けることはできません。遅刻3回は欠席1回の扱いとします。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (Tel) 095-819-2006 (Fax) 095-819-2974 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第9課 『你去哪儿？』 （対面） 学習ポイント：疑問詞・存在を表す動詞「有」と「在」・方向や位置を表す語・コラム：中国の十大古都
第2回	第9課 『你去哪儿？』 （対面） 学習ポイント：疑問詞・存在を表す動詞「有」と「在」・方向や位置を表す語・コラム：中国の十大古都
第3回	第10課 『你家離學校遠嗎？』 （対面） 学習ポイント：介詞“从、到、离”・二重目的語・変化表す“了”・構造助詞“地”・コラム：中国の八大名山
第4回	第10課 『你家離學校遠嗎？』 （対面） 学習ポイント：介詞“从、到、离”・二重目的語・変化表す“了”・構造助詞“地”・コラム：中国の八大名山
第5回	第11課 『東京冬天冷不冷？』 （対面） 学習ポイント：形容詞述語文・程度副詞・比較の表現・“有点儿”和“一点儿”・コラム：中国の世界遺産
第6回	第11課 『東京冬天冷不冷？』 （対面） 学習ポイント：形容詞述語文・程度副詞・比較の表現・“有点儿”和“一点儿”・コラム：中国の世界遺産
第7回	第12課 『媽媽在幹什麼？』 （対面） 学習ポイント：アスペクト助詞「着、了、过」・動詞・副詞・介詞（前置詞）の「在」・助動詞「想」「喜欢」「打算」・コラム：中国の一級行政区画
第8回	第12課 『媽媽在幹什麼？』 （対面） 学習ポイント：アスペクト助詞「着、了、过」・動詞・副詞・介詞（前置詞）の「在」・助動詞「想」「喜欢」「打算」・コラム：中国の一級行政区画
第9回	第13課 『你會開汽車嗎？』 （対面） 学習ポイント：助動詞「会、能、可以」・連動文・時間詞と時量詞・コラム：中国の八大料理
第10回	第13課 『你會開汽車嗎？』 （対面） 学習ポイント：助動詞「会、能、可以」・連動文・時間詞と時量詞・コラム：中国の八大料理
第11回	第14課 『你怎麼又吃餃子？』 （対面） 学習ポイント：副詞「又」と「再」・選択疑問文・「把」構文・受身の表現・コラム：中国学校教育の制度
第12回	第14課 『你怎麼又吃餃子？』 （対面） 学習ポイント：副詞「又」と「再」・選択疑問文・「把」構文・受身の表現・コラム：中国学校教育の制度
第13回	第15課 『今天我買了很多酒』 （対面） 学習ポイント：構造助詞“得”・使役文・動詞と前置詞の「给」・原因・方法を問う「怎么」・コラム：中国十大都市
第14回	第15課 『今天我買了很多酒』 （対面） 学習ポイント：構造助詞“得”・使役文・動詞と前置詞の「给」・原因・方法を問う「怎么」・コラム：中国十大都市
第15回	総合復習（対面）
第16回	期末試験（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590043017	科目番号 / Course code	05900430
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11219_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (M4 ~ M6) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	李 偉		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	李 偉		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	李 偉		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	M4 ~ M6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	waiwaijp▲gmail.com (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務局)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1時間/回) 復習: 教科書・プリントの該当箇所を復習すること(1時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト: 楊曉安・高芳『ポイントチェック・初級中国語』(同学社) 辞書: 日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	授業は全回出席することが原則であり、授業への出席が授業回数の3分の2に達していない場合は、期末テストを受けることはできません。遅刻3回は欠席1回の扱いとします。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (Tel) 095-819-2006 (Fax) 095-819-2974 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第9課 『你去哪儿？』（対面） 学習ポイント：疑問詞・存在を表す動詞「有」と「在」・方向や位置を表す語・コラム：中国の十大古都
第2回	第9課 『你去哪儿？』（対面） 学習ポイント：疑問詞・存在を表す動詞「有」と「在」・方向や位置を表す語・コラム：中国の十大古都
第3回	第10課 『你家離學校遠嗎？』（対面） 学習ポイント：介詞「从、到、离」・二重目的語・変化表す「了」・構造助詞「地」・コラム：中国の八大名山
第4回	第10課 『你家離學校遠嗎？』（対面） 学習ポイント：介詞「从、到、离」・二重目的語・変化表す「了」・構造助詞「地」・コラム：中国の八大名山
第5回	第11課 『東京冬天冷不冷？』（対面） 学習ポイント：形容詞述語文・程度副詞・比較の表現・「有点儿」和「一点儿」・コラム：中国の世界遺産
第6回	第11課 『東京冬天冷不冷？』（対面） 学習ポイント：形容詞述語文・程度副詞・比較の表現・「有点儿」和「一点儿」・コラム：中国の世界遺産
第7回	第12課 『媽媽在幹什麼？』（対面） 学習ポイント：アスペクト助詞「着、了、过」・動詞・副詞・介詞（前置詞）の「在」・助動詞「想」「喜欢」「打算」・コラム：中国の一級行政区画
第8回	第12課 『媽媽在幹什麼？』（対面） 学習ポイント：アスペクト助詞「着、了、过」・動詞・副詞・介詞（前置詞）の「在」・助動詞「想」「喜欢」「打算」・コラム：中国の一級行政区画
第9回	第13課 『你會開汽車嗎？』（対面） 学習ポイント：助動詞「会、能、可以」・連動文・時間詞と時量詞・コラム：中国の八大料理
第10回	第13課 『你會開汽車嗎？』（対面） 学習ポイント：助動詞「会、能、可以」・連動文・時間詞と時量詞・コラム：中国の八大料理
第11回	第14課 『你怎麼又吃餃子？』（対面） 学習ポイント：副詞「又」と「再」・選択疑問文・「把」構文・受身の表現・コラム：中国学校教育の制度
第12回	第14課 『你怎麼又吃餃子？』（対面） 学習ポイント：副詞「又」と「再」・選択疑問文・「把」構文・受身の表現・コラム：中国学校教育の制度
第13回	第15課 『今天我買了很多酒』（対面） 学習ポイント：構造助詞「得」・使役文・動詞と前置詞の「给」・原因・方法を問う「怎么」・コラム：中国十大都市
第14回	第15課 『今天我買了很多酒』（対面） 学習ポイント：構造助詞「得」・使役文・動詞と前置詞の「给」・原因・方法を問う「怎么」・コラム：中国十大都市
第15回	総合復習（対面）
第16回	期末試験（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590043018	科目番号 / Course code	05900430
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11219_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (T(中2)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	李 偉		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	李 偉		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	李 偉		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	T(中2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	waiwaijp▲gmail.com (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1時間/回) 復習：教科書・プリントの該当箇所を復習すること(1時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト：楊曉安・高芳『ポイントチェック・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	授業は全回出席することが原則であり、授業への出席が授業回数の3分の2に達していない場合は、期末テストを受けることはできません。遅刻3回は欠席1回の扱いとします。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (Tel) 095-819-2006 (Fax) 095-819-2974 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第9課 『你去哪儿？』（対面） 学習ポイント：疑問詞・存在を表す動詞「有」と「在」・方向や位置を表す語・コラム：中国の十大古都
第2回	第9課 『你去哪儿？』（対面） 学習ポイント：疑問詞・存在を表す動詞「有」と「在」・方向や位置を表す語・コラム：中国の十大古都
第3回	第10課 『你家離學校遠嗎？』（対面） 学習ポイント：介詞「从、到、离」・二重目的語・変化表す「了」・構造助詞「地」・コラム：中国の八大名山
第4回	第10課 『你家離學校遠嗎？』（対面） 学習ポイント：介詞「从、到、离」・二重目的語・変化表す「了」・構造助詞「地」・コラム：中国の八大名山
第5回	第11課 『東京冬天冷不冷？』（対面） 学習ポイント：形容詞述語文・程度副詞・比較の表現・「有点儿」和「一点儿」・コラム：中国の世界遺産
第6回	第11課 『東京冬天冷不冷？』（対面） 学習ポイント：形容詞述語文・程度副詞・比較の表現・「有点儿」和「一点儿」・コラム：中国の世界遺産
第7回	第12課 『媽媽在幹什麼？』（対面） 学習ポイント：アスペクト助詞「着、了、过」・動詞・副詞・介詞（前置詞）の「在」・助動詞「想」「喜欢」「打算」・コラム：中国の一級行政区画
第8回	第12課 『媽媽在幹什麼？』（対面） 学習ポイント：アスペクト助詞「着、了、过」・動詞・副詞・介詞（前置詞）の「在」・助動詞「想」「喜欢」「打算」・コラム：中国の一級行政区画
第9回	第13課 『你會開汽車嗎？』（対面） 学習ポイント：助動詞「会、能、可以」・連動文・時間詞と時量詞・コラム：中国の八大料理
第10回	第13課 『你會開汽車嗎？』（対面） 学習ポイント：助動詞「会、能、可以」・連動文・時間詞と時量詞・コラム：中国の八大料理
第11回	第14課 『你怎麼又吃餃子？』（対面） 学習ポイント：副詞「又」と「再」・選択疑問文・「把」構文・受身の表現・コラム：中国学校教育の制度
第12回	第14課 『你怎麼又吃餃子？』（対面） 学習ポイント：副詞「又」と「再」・選択疑問文・「把」構文・受身の表現・コラム：中国学校教育の制度
第13回	第15課 『今天我買了很多酒』（対面） 学習ポイント：構造助詞「得」・使役文・動詞と前置詞の「给」・原因・方法を問う「怎么」・コラム：中国十大都市
第14回	第15課 『今天我買了很多酒』（対面） 学習ポイント：構造助詞「得」・使役文・動詞と前置詞の「给」・原因・方法を問う「怎么」・コラム：中国十大都市
第15回	総合復習（対面）
第16回	期末試験（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590043019	科目番号 / Course code	05900430
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11219_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (T(中3)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 愛莉 / Ryu Airi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 愛莉 / Ryu Airi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 愛莉 / Ryu Airi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	T(中3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kym_ar▲hotmail.com (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業曜日12:00~12:40		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1時間/回) 復習: 教科書・プリントの該当箇所を復習すること(1時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト: 楊曉安・高芳『ポイントチェック・初級中国語』(同学社) 辞書: 日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	授業は全回出席することが原則であり、授業への出席が授業回数の3分の2に達していない場合は、期末テストを受けることはできません。遅刻3回は欠席1回の扱いとします。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (Tel) 095-819-2006 (Fax) 095-819-2974 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第9課 『你去哪儿?』 (対面) 学習ポイント: 疑問詞・存在を表す動詞「有」と「在」・方向や位置を表す語・コラム: 中国の十大古都
第2回	第9課 『你去哪儿?』 (対面) 学習ポイント: 疑問詞・存在を表す動詞「有」と「在」・方向や位置を表す語・コラム: 中国の十大古都
第3回	第10課 『你家離學校遠嗎?』 (対面) 学習ポイント: 介詞「从、到、离」・二重目的語・変化表す「了」・構造助詞「地」・コラム: 中国の八大名山
第4回	第10課 『你家離學校遠嗎?』 (対面) 学習ポイント: 介詞「从、到、离」・二重目的語・変化表す「了」・構造助詞「地」・コラム: 中国の八大名山
第5回	第11課 『東京冬天冷不冷?』 (対面) 学習ポイント: 形容詞述語文・程度副詞・比較の表現・「有点儿」和「一点儿」・コラム: 中国の世界遺産
第6回	第11課 『東京冬天冷不冷?』 (対面) 学習ポイント: 形容詞述語文・程度副詞・比較の表現・「有点儿」和「一点儿」・コラム: 中国の世界遺産
第7回	第12課 『媽媽在幹什麼?』 (対面) 学習ポイント: アスペクト助詞「着、了、过」・動詞・副詞・介詞(前置詞)の「在」・助動詞「想」「喜欢」「打算」・コラム: 中国の一級行政区画
第8回	第12課 『媽媽在幹什麼?』 (対面) 学習ポイント: アスペクト助詞「着、了、过」・動詞・副詞・介詞(前置詞)の「在」・助動詞「想」「喜欢」「打算」・コラム: 中国の一級行政区画
第9回	第13課 『你會開汽車嗎?』 (対面) 学習ポイント: 助動詞「会、能、可以」・連動文・時間詞と時量詞・コラム: 中国の八大料理
第10回	第13課 『你會開汽車嗎?』 (対面) 学習ポイント: 助動詞「会、能、可以」・連動文・時間詞と時量詞・コラム: 中国の八大料理
第11回	第14課 『你怎麼又吃餃子?』 (対面) 学習ポイント: 副詞「又」と「再」・選択疑問文・「把」構文・受身の表現・コラム: 中国学校教育の制度
第12回	第14課 『你怎麼又吃餃子?』 (対面) 学習ポイント: 副詞「又」と「再」・選択疑問文・「把」構文・受身の表現・コラム: 中国学校教育の制度
第13回	第15課 『今天我買了很多酒』 (対面) 学習ポイント: 構造助詞「得」・使役文・動詞と前置詞の「给」・原因・方法を問う「怎么」・コラム: 中国十大都市
第14回	第15課 『今天我買了很多酒』 (対面) 学習ポイント: 構造助詞「得」・使役文・動詞と前置詞の「给」・原因・方法を問う「怎么」・コラム: 中国十大都市
第15回	総合復習(対面)
第16回	期末試験(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590045001	科目番号 / Course code	05900450
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11319_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (2G1 ~ 2G3) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	楊 曉安 / Yang Xiaolan		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	楊 曉安 / Yang Xiaolan		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	楊 曉安 / Yang Xiaolan		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2G1 ~ 2G3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	xiaolan▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	環境科学部実験棟1階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2166		
担当教員オフィスアワー / Office hours	火曜日4校時		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	本講では中国語 と中国語 の1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標 / Course goals	1. 簡単な日常会話を話せるようにする。 2. 基本的な中国語を読めるようにする。 3. 基本的な中国語を書けるようにする。 4. 現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	期末テスト (70%)、小テスト・課題 (20%)、授業への積極的な参加 (10%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習 (1時間/回) 復習: 教科書・プリントの該当箇所を復習すること (1時間/回)		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト: 楊曉安『現代中国アラカルト』(郁文堂) 辞書: 日中辞書・中日辞書		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	授業は全回出席することが原則であり、授業への出席が授業回数の3分の2に達していない場合は、期末テストを受けることはできません。遅刻3回は欠席1回の扱いとします。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 『談家庭』 家族について(1)（対面） 基本表現 / 会話1 文法：「嗎と呢」 / 「二と兩」
第2回	第1課 『談家庭』 家族について(2)（対面） 基本表現 / 会話2 文法：比較の表現 / “都不...” と “不都...” 閲読：「中国的家庭結構(中国の家庭構造)」
第3回	第2課 『談方位』 場所について(1)（対面） 基本表現 / 会話1 文法：「听(据)説... / 听(据) ...説...」 / 「剛...」 / 「既... , 又(也)...
第4回	第2課 『談方位』 場所について(2)（対面） 基本表現 / 会話2 文法：「不是...嗎？」 / 「除了...」 / 所在動詞“在”と存在動詞“有” / 方向や位置を表す語 閲読：「我們學校(私たちの学校)」
第5回	第3課 『談時間』 時間について(1)（対面） 基本表現 / 会話1 文法：「不但... , 而且...」 / 「一...就...」 / 「先... , 然后...」 / 離合詞
第6回	第3課 『談時間』 時間について(2)（対面） 基本表現 / 会話2 文法：結果補語 / 「从...到...」 / 「名詞+了」 / 「有時... , 有時...」 閲読：「我的一天(私の一日)」
第7回	第1課から第3課までの復習（対面）
第8回	第4課 『談愛好』 趣味について(1)（対面） 基本表現 / 会話1 文法：動量補語 / 時量補語
第9回	第4課 『談愛好』 趣味について(2)（対面） 基本表現 / 会話2 文法：様態補語 / アスペクト助詞「了・着・過」 閲読：「愛好(趣味)」
第10回	第5課 『談天气』 気候について(1)（対面） 基本表現 / 会話1 文法：「因為... , 所以...」 / 「(雖然)... , 但是(可是)...
第11回	第5課 『談天气』 気候について(2)（対面） 基本表現 / 会話2 文法：「只有...才...」 / 動詞の重ね / 四種類の疑問文 閲読：「中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)」
第12回	第6課 『談体育』 スポーツについて(1)（対面） 基本表現 / 会話1 文法：「正在...」 / 「還...」 / 方向補語

第13回	第6課 『談体育』 スポーツについて(2)(対面) 基本表現 / 会話2 文法：可能補語 / 「毎と隔」 / 「想・喜歡・打算」 閲読：「乒乓球(卓球)」
第14回	第4課から第6課までの復習(対面)
第15回	総合復習(対面)
第16回	期末試験(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590045002	科目番号 / Course code	05900450
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11319_032		
授業科目名 / Course title	【Online】●中国語 (再履修) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	楊 曉安 / Yang Xiaolan		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	楊 曉安 / Yang Xiaolan		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	楊 曉安 / Yang Xiaolan		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	オンライン		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	再履修		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	xiaolan▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	xiaolan▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日4校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講では中国語 と中国語 の1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。 本講はオンデマンド形式 (Iacsで動画の配信と課題提出) で行う。		
授業到達目標/Course goals	1. 簡単な日常会話を話せるようにする。 2. 基本的な中国語を読めるようにする。 3. 基本的な中国語を書けるようにする。 4. 現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末テスト (70%)、課題 (30%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと (1時間/回) 復習: 教科書・プリントの該当箇所を復習すること (1時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト: 楊曉安『現代中国アラカルト』(郁文堂) 辞書: 日中辞書・中日辞書		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	授業は全回分の課題 (教科書の練習問題と追加練習問題) を時間通りに提出することが原則であり、課題の提出が3分の2に達していない場合は、期末テストを受けることはできません。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業：オンライン授業（オンデマンド式） 試験：対面式
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 『談家庭』 家族について(1)（オンデマンド） 基本表現 / 会話1 文法：「嗎と呢」 / 「二と兩」
第2回	第1課 『談家庭』 家族について(2)（オンデマンド） 基本表現 / 会話2 文法：比較の表現 / “都不...”と“不都...” 閲読：「中国的家庭結構(中国の家庭構造)」
第3回	第2課 『談方位』 場所について(1)（オンデマンド） 基本表現 / 会話1 文法：「听(据)說... / 听(据) ...說...」 / 「剛...」 / 「既...，又(也)...
第4回	第2課 『談方位』 場所について(2)（オンデマンド） 基本表現 / 会話2 文法：「不是...嗎？」 / 「除了...」 / 所在動詞“在”と存在動詞“有” / 方向や位置を表す語 閲読：「我們学校(私たちの学校)」
第5回	第3課 『談時間』 時間について(1)（オンデマンド） 基本表現 / 会話1 文法：「不但...，而且...」 / 「一...就...」 / 「先...，然后...」 / 離合詞
第6回	第3課 『談時間』 時間について(2)（オンデマンド） 基本表現 / 会話2 文法：結果補語 / 「从...到...」 / 「名詞+了」 / 「有時...，有時...」 閲読：「我的一天(私の一日)」
第7回	第1課から第3課までの復習（オンデマンド）
第8回	第4課 『談愛好』 趣味について(1)（オンデマンド） 基本表現 / 会話1 文法：動量補語 / 時量補語
第9回	第4課 『談愛好』 趣味について(2)（オンデマンド） 基本表現 / 会話2 文法：様態補語 / アスペクト助詞「了・着・過」 閲読：「愛好(趣味)」
第10回	第5課 『談天气』 気候について(1)（オンデマンド） 基本表現 / 会話1 文法：「因為...，所以...」 / 「(雖然)...，但是(可是)...
第11回	第5課 『談天气』 気候について(2)（オンデマンド） 基本表現 / 会話2 文法：「只有...才...」 / 動詞の重ね / 四種類の疑問文 閲読：「中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)」
第12回	第6課 『談体育』 スポーツについて(1)（オンデマンド） 基本表現 / 会話1 文法：「正在...」 / 「還...」 / 方向補語

第13回	第6課 『談体育』 スポーツについて(2)(オンデマンド) 基本表現 / 会話2 文法：可能補語 / 「毎と隔」 / 「想・喜歡・打算」 閲読：「乒乓球(卓球)」
第14回	第4課から第6課までの復習(オンデマンド)
第15回	総合復習(オンデマンド)
第16回	期末試験(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590047001	科目番号 / Course code	05900470
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11419_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (2G1 ~ 2G3) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	楊 曉安 / Yang Xiaonan		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	楊 曉安 / Yang Xiaonan		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	楊 曉安 / Yang Xiaonan		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2G1 ~ 2G3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	xiaonan▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	環境科学部実験棟1階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2166		
担当教員オフィスアワー / Office hours	火曜日4校時		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	本講では中国語 と中国語 の1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標 / Course goals	1. 簡単な日常会話を話せるようにする。 2. 基本的な中国語を読めるようにする。 3. 基本的な中国語を書けるようにする。 4. 現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	期末テスト (70%)、小テスト・課題 (20%)、授業への積極的な参加 (10%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習 (1時間/回) 復習: 教科書・プリントの該当箇所を復習すること (1時間/回)		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト: 『現代中国アラカルト』楊曉安 (郁文堂) 辞書: 日中辞書・中日辞書		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	授業は全回出席することが原則であり、授業への出席が授業回数の3分の2に達していない場合は、期末テストを受けることはできません。遅刻3回は欠席1回の扱いとします。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第7課 『談旅游』 旅行について(1)（対面） 基本表現 / 会話1 文法：「...吧」 / 「給...」 / 「或者」
第2回	第7課 『談旅游』 旅行について(2)（対面） 基本表現 / 会話2 文法：「跟(和、同)...一樣」 / 「不僅如此」 / 「没想到...」 閲読：「中国十大名勝古迹(中国の十大名所旧跡)」
第3回	第8課 『談飲食』 飲食について(1)（対面） 基本表現 / 会話1 文法：「越來越...」 / 「大概...吧」 / 「都+疑問代名詞」 / 「几と多少」
第4回	第8課 『談飲食』 飲食について(2)（対面） 基本表現 / 会話2 文法：「五、六」 / 「不是...，而是...」 / 「怪不得」 閲読：「中国的菜系(中国の料理)」
第5回	第9課 『談交通』 交通について(1)（対面） 基本表現 / 会話1 文法：「...的話」 / 「好+動詞」 / 「就と才」
第6回	第9課 『談交通』 交通について(2)（対面） 基本表現 / 会話2 文法：「既然...，就...」 / 「他們那儿」 / 使役の表現 閲読：「中国的交通(中国の交通)」
第7回	第7課から第9課までの復習（対面）
第8回	第10課 『談看病』 診察について(1)（対面） 基本表現 / 会話1 文法：「只要...，就...」 / 「除非...，否則...」 / 「一来...，二来...」
第9回	第10課 『談看病』 診察について(2)（対面） 基本表現 / 会話2 文法：「即使...，也...」 / 「比如」 / 連動文 閲読：「中国医院的分級(中国の病院の等級付け)」
第10回	第11課 『談購物』 買い物について(1)（対面） 基本表現 / 会話1 文法：「給と為」 / 「連...也...」
第11回	第11課 『談購物』 買い物について(2)（対面） 基本表現 / 会話2 文法：「再...也(都)...」 / 「不過...罷了」 / 結構助詞「的・地・得」 閲読：「網購(ネットショッピング)」
第12回	第12課 『談節日』 祝日について(1)（対面） 基本表現 / 会話1 文法：「難怪...」 / 「...是...」

第13回	第12課 『談節日』 祝日について(2)（対面） 基本表現 / 会話2 文法：「-起来」 / 「-下去」 / 程度副詞 閲読：「中国的節日与休假(中国の祝日と休暇)」
第14回	第10課から第12課までの復習（対面）
第15回	総合復習（対面）
第16回	期末試験（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590047002	科目番号 / Course code	05900470
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11419_032		
授業科目名 / Course title	【Online】●中国語 (再履修) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	楊 曉安 / Yang Xiaolan		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	楊 曉安 / Yang Xiaolan		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	楊 曉安 / Yang Xiaolan		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	オンライン		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	再履修		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	xiaolan▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	xiaolan▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日4校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講では中国語 と中国語 の1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。 本講はオンデマンド形式(lacsで動画の配信と課題提出)で行う。		
授業到達目標/Course goals	1. 簡単な日常会話を話せるようにする。 2. 基本的な中国語を読めるようにする。 3. 基本的な中国語を書けるようにする。 4. 現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末テスト(70%)、課題(30%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと(1時間/回) 復習: 教科書・プリントの該当箇所を復習すること(1時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト: 『現代中国アラカルト』楊曉安(郁文堂) 辞書: 日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	授業は全回分の課題(教科書の練習問題と追加練習問題)を時間通りに提出することが原則であり、課題の提出が3分の2に達していない場合は、期末テストを受けることはできません。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業：オンライン授業（オンデマンド式） 試験：対面式
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第7課 『談旅游』 旅行について(1)（オンデマンド） 基本表現 / 会話1 文法：「...吧」 / 「給...」 / 「或者」
第2回	第7課 『談旅游』 旅行について(2)（オンデマンド） 基本表現 / 会話2 文法：「跟(和、同)...一樣」 / 「不僅如此」 / 「没想到...」 閲読：「中国十大名勝古迹(中国の十大名所旧跡)」
第3回	第8課 『談飲食』 飲食について(1)（オンデマンド） 基本表現 / 会話1 文法：「越来越...」 / 「大概...吧」 / 「都+疑問代名詞」 / 「几と多少」
第4回	第8課 『談飲食』 飲食について(2)（オンデマンド） 基本表現 / 会話2 文法：「五、六」 / 「不是...，而是...」 / 「怪不得」 閲読：「中国的菜系(中国の料理)」
第5回	第9課 『談交通』 交通について(1)（オンデマンド） 基本表現 / 会話1 文法：「...的話」 / 「好+動詞」 / 「就と才」
第6回	第9課 『談交通』 交通について(2)（オンデマンド） 基本表現 / 会話2 文法：「既然...，就...」 / 「他們那儿」 / 使役の表現 閲読：「中国的交通(中国の交通)」
第7回	第7課から第9課までの復習（オンデマンド）
第8回	第10課 『談看病』 診察について(1)（オンデマンド） 基本表現 / 会話1 文法：「只要...，就...」 / 「除非...，否則...」 / 「一来...，二来...」
第9回	第10課 『談看病』 診察について(2)（オンデマンド） 基本表現 / 会話2 文法：「即使...，也...」 / 「比如」 / 連動文 閲読：「中国医院的分級(中国の病院の等級付け)」
第10回	第11課 『談購物』 買い物について(1)（オンデマンド） 基本表現 / 会話1 文法：「給と為」 / 「連...也...」
第11回	第11課 『談購物』 買い物について(2)（オンデマンド） 基本表現 / 会話2 文法：「再...也(都)...」 / 「不過...罷了」 / 結構助詞「的・地・得」 閲読：「網購(ネットショッピング)」
第12回	第12課 『談節日』 祝日について(1)（オンデマンド） 基本表現 / 会話1 文法：「難怪...」 / 「...是...」

第13回	第12課 『談節日』 祝日について(2) (オンデマンド) 基本表現 / 会話2 文法：「-起来」 / 「-下去」 / 程度副詞 閲読：「中国的節日与休假(中国の祝日と休暇)」
第14回	第10課から第12課までの復習 (オンデマンド)
第15回	総合復習 (オンデマンド)
第16回	期末試験 (対面)